

SHUNKEN 2001-04 29-01

駿建

2001年新学期号 Vol.29 No.1 日本大学工学部建築学科 日本大学短期大学部建設学科

P-U (paper-unit)について

くまもとアートポリス2000 21世紀へのアートポリスストリート展

佐藤 慎也



熊本県で1990年から行われてきた「くまもとアートポリス」事業では、多くの話題となった建築がつくられてきました。山本理顕さんの「県営保田窪第一団地」、伊東豊雄さんの「八代市立博物館未来の森ミュージアム」、妹島和世さんの「再春館レディースレジデンス」など、著名な建築家の代表作が熊本に集まっています。最近でも、建築学科に非常勤講師にいられている曾我部昌史先生（みかんぐみ）設計による「八代市立高田あけぼの保育園」が完成したばかりです。今村雅樹助教授も福祉施設の設計を行っているところで、いずれ「竣工」でも紹介されることになると思います。

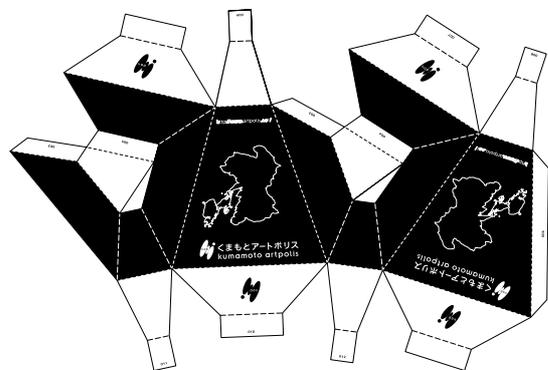
昨年の11月、アートポリスを更に多くの人たちに知ってもらうためのイベント「くまもとアートポリス2000」が熊本市で開かれました。その一環として行われた、「21世紀へのアートポリスストリート展」という展示会のた

めに、「P-U」と名付けられた段ボール製のユニットを開発し、それをういた展示構成を行いました。

以前は美術館で行われてきた展示会ですが、今回は1日5万人以上の通行があるアーケードへと会場が変更され、多くの人たちの目に触れることになりました。美術館には展示を見ることを目的とした人たちが集まりませんが、アーケードでは様々な人たちが通り過ぎます。そこで、建築に関係する人たちだけが理解できる図面や文章ではなく、誰にでも理解できる日常的な表現を用いた展示を試みました。キャッチフレーズとなるメッセージ、建築をキャラクター化したペーパークラフトなど、誰もが興味をもつチャーミングな展示品をつくり出しました。もちろん、実際に存在する建築へ興味を向けってもらうことが最終的な目的であり、これらの展示品は、そのための手掛かりを与えるものとなります。

乱雑なディスプレイの並ぶアーケードの天井からは、鮮やかな色の巨大な看板を吊り下げました。メッセージが文字だけでシンプルに示されることで、看板は存在感のある展示品となっています。そこに書かれた建築家からのメッセージは、わかりやすい一言だけを設計主旨から取り出し、キャッチフレーズへと形を変えたものです。それにより、建築が理由をもってつくられていることを示しています。

看板の真下には、メッセージに対応する展示ブースを置き、デフォルメされたペーパークラフトを展示しました。実在する建築は、キャラクターとして扱われることで、親しみをもたれるものとなります。それはまた、建



「P-U」展開図



子どもの目の高さに表示を行うブース

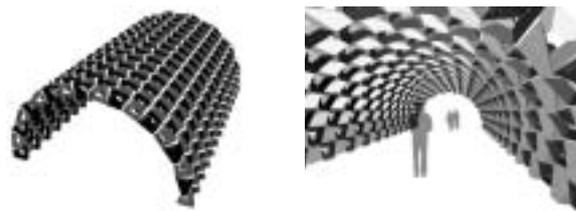


「P-U」の表面にペーパークラフトが貼り付く

築が形をもってつくられていることを示しています。しかも、簡単に複製できるので、展示品であるにもかかわらず、子どもが手を触れることも許されています。また、ポストカードとして印刷されて、大量に配られたので、家に持ち帰って組み立てることもできました。展示品となった約60種類のペーパークラフトの設計や制作、現地でのブース設置には、高宮+本杉研究室の学生による多くの協力がありました。

この展示ブースのために「P-U」が開発されました。アーケードに転がっている段ボール箱にヒントを得て、日常的な素材を用いた展示ブースを考えました。段ボールは、軽くて強度があり、値段も安く、表面に印刷が可能、リサイクルも可能です。ユニット式のデザインとすることで、組み合わせ方により様々な展示ブースをつくり出すことができます。今回は、展示場所や目的に応じて4タイプのブースを考えました。それぞれのユニットは、中央に穴が開くように1枚の段ボールを複雑に折り畳むことで、折板構造としての強度をもっています。アーチ状に組み合わせて部屋をつくることも可能です。工場で製作されるため、型の抜き取り、折り目を付ける筋押し、印刷といった作業が高い精度で行われました。組み立てにはリベットを用いるので、誰にでも簡単に組み立てることができます。また、ユニット表面には、熊本県の地図やアートポリスのロゴが鮮やかな色で印刷されました。(今回の記事は白黒であるため、色がわかりませんが、「新建築」2001年2月号にカラー記事で「P-U」が取り上げられています。組み立ての様子を収めた写真も掲載されています。)

(助手)



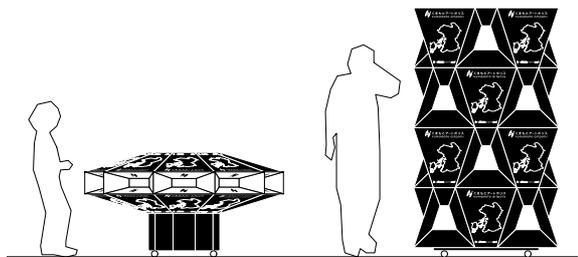
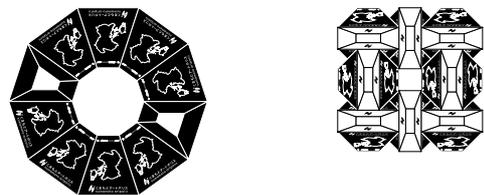
「P-U」によるアーチ



子どもが触れても大丈夫



看板と展示ブース



展示ブース 平面図・立面図



記念写真

(全ての撮影：木田勝之)

平成13年度 履修要項

建築学科

平成13年4月

1. 履修に関する一般事項

履修要覧 建築学科を卒業するために必要な条件は、入学時に渡された「学部要覧」および「建築学科履修の手引き」に詳しく記載されている。これは大学と諸君との間の、教育に関する“契約”が述べられている重要文書だから、卒業まで大事に取り扱い、年度初めには必ず読み直すべきものである。これら履修に関する諸規定は、諸君が卒業するまで変更することなく適用される。なお、本年度の3年次編入生には、平成11年度の履修規定が適用される。

これらの履修規定はカリキュラムの変更にもとまって改訂されることがある。平成5年度および平成10年度の

改正によって、1～4年次生、5～8年次生では、それぞれ履修規定・設置科目が異なっているので注意すること。特に平成10年度から実施されている新カリキュラムでは大幅な改訂が行われている。5年次以上の学生が1～4年次設置科目を受講する場合は、ガイダンス時に配布される新旧科目振替表によってよく確認の上、受講計画を立てることが必要である。

相互履修および単位互換制度 平成7年度から、日本大学相互履修制度が運用されている。これは、所定の手続きを経て各学部の指定する講義を相互に履修できるようにしたもので、合格すれば単位が修得できる。受講可能科目、申請手続き等はガイダンス時にクラス担任から説明がある。建築学科では、このようにして修得した単位を「卒業に必要な単位」には算入しないが、高学年で時間に余裕があれば、芸術、生産工、経済学部等の講義を受講して知識を広めるとよい。単位互換制度は、理工学部と短期大学部間で、それぞれ指定された講義を相互に履修できるようにしたもので、平成8年度から実施されている。上の相互履修制度を短大にまで広げたものと考えればよい。詳細情報は教務課またはクラス担任から伝えられる。

他学科設置科目の受講 2年次生は40単位以上、3年次生は85単位以上、4年次生は125単位以上を修得し、受講計画に余裕があって、クラス担任から必要と認められた場合、受講科目担当師の許可を得て、建築学科以外の学科に設置された基礎教育および専門教育科目を受講することができる（履修要覧参照）。

受講届 毎年新学期の受講計画は、指定された期限までに受講届を提出し、教務課に登録されたことを確認しなければならない。登録していない科目の試験を受けて合格しても単位は認められない。届出・確認の手続きは必ず自分の責任において行い、控えをとっておくこと。

教職課程の受講 中学校および高等学校の教員免許を取得希望の者は、教職課程科目を受講することができる。履修条件その他の詳細は、学部要覧の履修要項 教職課程 を参照されたい。

平成13年度クラス担任一覧

学年	クラス担任	研究室No.・電話番号（内線）
1年	岡村 武士	船・大型構造物試験棟 047-469-5(366) 駿・946 03-3259-0(928)
	富田 隆太	駿・583-A 03-3259-0(699)
	A 朝倉 徳雄	船・体育館研究室G 047-469-5(298)
	" 鈴木 孝	船・531 047-469-5(235)
	B 石浜 弘道	船・532 047-469-5(232)
	" 小川 貴	船・体育館研究室D 047-469-5(327)
	C 森 秀夫	船・541-A 047-469-5(230)
2年	" 宝達 邦彦	船・131-A 047-469-5(215)
	1組 今村 雅樹	駿・589 03-3259-0(706)
	" 蜂巣 浩生	駿・453-B 03-3259-0(707)
	2組 岡田 章	駿・439-B 03-3259-0(710)
3年	" 渡辺 富雄	駿・966 03-3259-0(967)
	1組 井上 勝夫	駿・582-A 03-3259-0(418)
	" 佐藤 直樹	駿・579 03-3259-0(711)
	2組 宇杉 和夫	駿・589 03-3259-0(462)
4年	" 大川 三雄	駿・588-A 03-3259-0(718)
	1組 安達 俊夫	駿・433-B 03-3259-0(696)
	" 山田 雅一	駿・433-A 03-3259-0(696)
	2組 橋本 修	駿・583-A 03-3259-0(699)
	" 重枝 豊	駿・587-B 03-3259-0(718)
5年次以上	柳田 武	駿・579 03-3259-0(716)

大学院理工学研究科建築学専攻（修士）

1年	野村 歆	駿・965 03-3259-0(712)
2年	半貴 敏夫	駿・432-A 03-3259-0(713)

大学院理工学研究科不動産科学専攻（修士）

1年	宇於崎勝也	駿・577 03-3259-0(700)
2年	根上 彰生	駿・577 03-3259-0(700)

1年次生

○履修要項と学科の概要について

1年次生は、ガイダンスの時に配布される平成13年度

理工学部要覧に示された履修要項に従って卒業まで学修する。この学部要覧には、履修規定、履修方法のほかに、各年次別の授業科目、単位、履修順序、受講手続きの方法、受講計画上の注意、教職課程の履修方法および学生生活に関する情報が掲載されているので、卒業まで大事に保管し、よく検討して学修計画を立てること。また各授業科目の内容は、学部要覧の学科目概要および学期初めに科目担当教員から配布される授業計画（シラバス）で知ることができる。

建築学科の概要や教育目標、学修方法、コース（建築学コースと企画経営コース）選択、その他については、ガイダンス当日に教室主任およびクラス担任の先生から説明がある。両コースの履修の詳細については別途配布する「建築学科履修の手引」を参照されたい。コースの選択・登録は2年次後期に行われる。

○総合教育・外国語・基礎教育・専門教育科目の履修について

時間割表を見るとわかるように、大学生にふさわしい人格形成のため、さらにこれから専門教育を受ける上で必要と思われる総合教育科目が1年次に多数設置されている。なかでも基礎教育科目の微分積分学、基礎物理学および工業数学は専門教育の基礎となる重要な科目であるから、できるだけ1年次で単位を修得すること。

外国語科目は、英語を中心にして、第2外国語にドイツ語、フランス語、その他を選択するとよい。

また、1年次の専門基礎教育科目（専門教育を受ける上で基礎となる知識や学力を蓄えることを目標とした科目）として、建築概論、デザイン基礎、の必修3科目およびコンピュータリテラシ、情報処理の選択2科目、専門教育科目として建築基礎実験、建築の計画と技術、建築史概論、構造力学、構造力学演習が設置されている。これらはすべて建築学の基礎であるから1年次で全て受講するとよい。

1年次では40単位修得を目標に頑張してほしい。ただし、無計画に毎日5時限まで授業を組む必要はない。卒業までの4年間をどう過ごすかを十分に考えた上で、長期的な視野で受講計画を立てることをすすめる。

2年次生

諸君のメインキャンパスは船橋校舎だが、週1回、建築設計、と建築材料実験を駿河台校舎で受講してもらうことになる（1組：月、2組：木曜日）。すこし変則的なキャンパスの使い方、諸君には不便なことが多いと思うが、大学の施設拡充のために協力してもらいたい。

○専門教育科目の履修について

履修規定は入学時に配布した平成12年度(2000)学部要

覧による。2年次から本格的な専門教育課程に入る。教育効果を高めるために2クラスに分けて各専門科目を受講するように時間割が編成されている。クラスは学生番号が奇数の学生が1組、偶数の学生が2組である。諸君はそれぞれ該当するクラスの時間割に従って、受講計画を立ててもらいたい。なお、クラスを変更した受講はできない。

2年次設置の専門教育科目はすべて、これから建築を学んでゆく上の基礎的な科目であるから、時間割に組まれたこれらの科目は、単位数からみても全部履修することが望ましい。とくに、印のついた16科目（企画経営コースも16科目）は「選択必修科目」である。「必修」と同様に考えて、受講してもらいたい。

カリキュラムの系統図や分類については、1年次のガイダンスで配布した「建築学科履修の手引」を再読して、各学科目の位置づけと相互の関連をよく検討した上で、選択科目を決めるとよい。なお、3年次終了までに卒業に必要な単位の約78%にあたる102単位以上を修得していないと、4年間で卒業できない。受講計画全般については、クラス担任が相談にのってくれる。

○基礎教育科目の受講について

2年次に設置されている基礎教育科目は、線形代数学、微分方程式、材料化学の3科目8単位である。卒業条件としては、1年次設置の建築概論、デザイン基礎、等を含めて合計16単位以上を修得すればよい。受講計画は、3、4年次の構造系専門科目の基礎として「微分方程式」、「材料化学」を、環境工学、都市計画、建築計画などの計画系専門科目の基礎として「線形代数学」の受講をすすめる。

○建築学コース、企画経営コースの選択と登録について

諸君は2年次後期に「建築学コース」か「企画経営コース」を選択・登録し、以後はそれぞれのコースのカリキュラムに従って、各学科目の選択・受講の計画を立てることになる。コース選択の方法は、後日クラス担任および企画経営コース担当の教員から説明がある。なお、前期に設置されている「不動産科学概論」は企画経営コースの入門的な内容で、両コースの学生がそれぞれ専門教育科目の一つとして受講できるようになっている。なお、企画経営コースのB系列専門科目は、コース選択が決定した後期に受講登録できる。

○建築設計、および建築材料実験の受講について

建築設計も実験も10数名の小グループに分けて行われるので、それぞれのガイダンスには必ず出席すること。駿河台校舎の実験室は手狭なので、各班ごとに時間をずらして各種実験が行われることが多い。実験の予定・準備する資料その他、各種の注意事項が、駿河台校舎5号館5階エレベータホールに掲示されるので、毎週月、木

曜日に駿河台校舎に来たら、必ず掲示を確認するとよい。

3 年次生

○ 専門教育科目の受講について

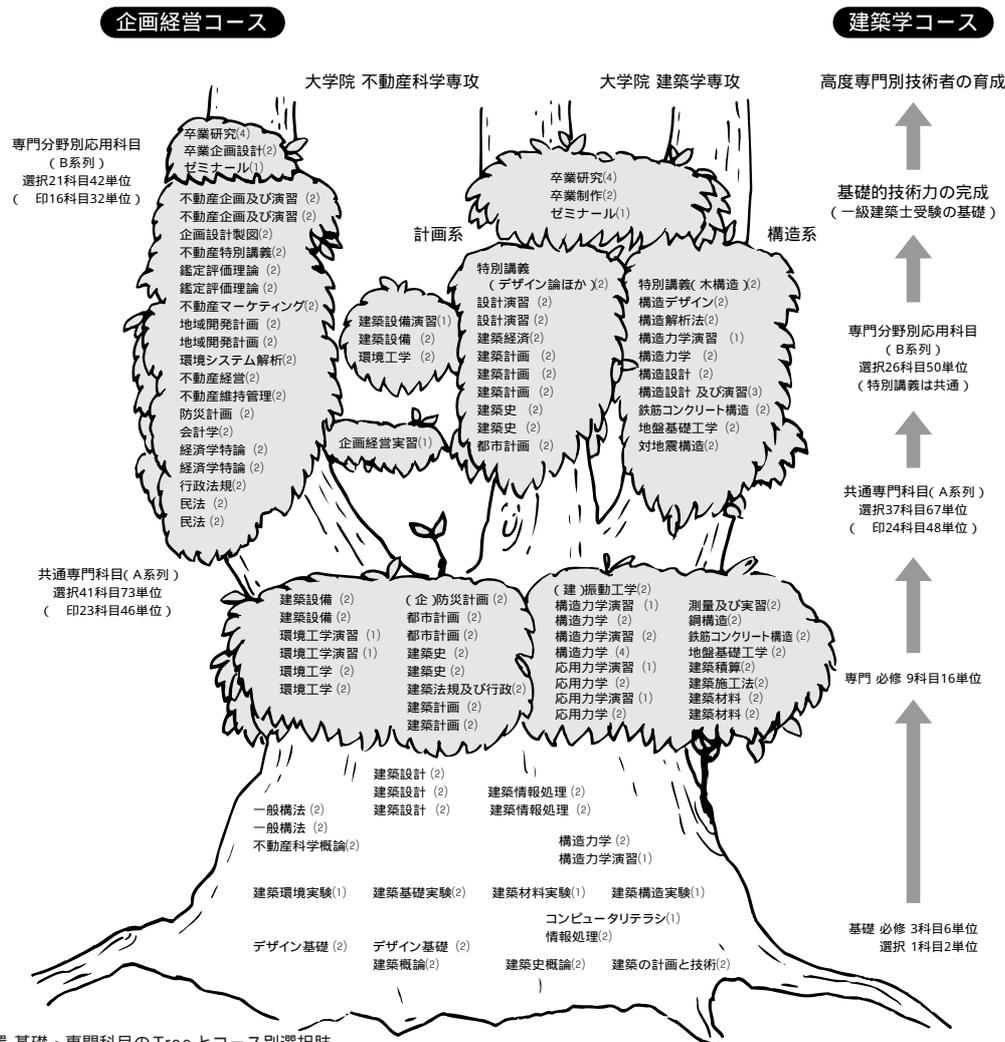
2 年次と同様に 3 年次には、建築を学んでゆく上で基礎となる専門教育科目が多数設置されている。自分の専攻分野を決めるために各方面にわたる科目を 3 年次で一通り履修しておくといふ。2 年次設置専門科目を受講する必要のある者は、船橋校舎の授業を受けなければならない。

ただし、3 年次編入生が 2 年次設置の 印専門科目を駿河台校舎で受講できるように特別な時間割表が組んであるので、よく検討して時間の無駄のないように受講計画を立てること。この駿河台設置の 2 年次科目は編入生

専用で、その受講にはクラス担任の許可が要る。受講順序は、2 年次設置科目から優先的に受講しなければならない。なお、編入生は認定単位の制約から、本年度の受講計画が一番難しい。そこで、編入生に限りクラスを変更して受講することが認められることがあるので、受講計画立案の段階でクラス担任によく相談すること。

建築学科の卒業条件としては、必修、選択必修科目を含めて専門教育科目 82 単位以上を修得しなければならない。また 4 年次設置の専門科目は、原則として諸君がそれぞれ自分の専攻分野を決めてから受講する選択科目だから、3 年次終了までに専門教育科目の単位は少なくとも 70 単位以上修得しておくべきである。

とくに企画経営コースでは、3 年次に基礎的かつ重要な専門科目が集中設置されているので、これらの単位は必ず修得しなければならない。



建築学科設置 基礎・専門科目のTreeとコース別選択枝

○卒業研究着手条件について

諸君が来年度に卒業研究に着手するためには、卒業条件の単位数130単位の約78%にあたる102単位以上を今年度中に修得しなければならない。これは、単に3年次までに修得した単位の合計ではなく、卒業に必要な単位の合計が102以上なければならないので充分注意してほしい。この卒業研究着手条件は厳守され、例外はない。

また、次年度の卒業研究に十分な時間をかけて悔いのない大学生活をおくるためには、3年次終了までに修得する単位総数が、卒業条件として有効な単位だけでなくとも120単位以上あることが望ましい。

4年次生

4年次の新学期で最も大事なことは、諸君のそれまでの修得単位数によって当該年度に卒業する見込みがあるかどうかの判断が下されることである。卒業見込み者＝卒業研究着手者であり、大学生活最後の年度は卒業研究のテーマ設定と指導教員の選択から始まる。

本来ならば卒業研究指導の先生が決まり、しばらく研究室活動を行ってから、大学院進学や就職先など卒業後の進路について卒研指導の先生と相談するのが理想である。しかし、近頃の現実はどうもうまくゆかなくて、就職活動は2月、3年次の期末試験が終わるとすぐに始めざるを得ないようになってしまっている。そこで、積極的に建築教室の就職情報を見たり、企業のホームページ、D.M.を検討するなど、情報収集はできるだけ広い範囲で行い、進路について身近な先生がたや先輩、両親等に早めに相談するとよい。

デザイナー、構造デザイナー、企業の研究職など、将来、専門性の強い分野での活動を目指す諸君には、大学院博士前期課程（修士）への進学を勧める。最近の就職事情をみると、これらの分野への就職は大学院修了者が有利である。大学院進学は卒研指導の先生とできるだけ早く相談すること。ただし大学院進学希望者が一つの研究室に集中すると、一人の先生が指導できる大学院生の数は限られているから、その時点で進路の窓口が閉ざされてしまうことがある。建築教室内のこのような事情はクラス担任が一番正確に把握しているから、流言に惑わされず、クラス担任からの的確な情報を得るのがよい。卒業研究の研究室選択には、自分の専門を決める以外にもいろいろなファクターが関係する。

○専門教育科目の受講について

建築学コース4年次に設置されている専門科目は、2、3年次の専門科目70～75単位を修得した上で、諸君の将来の進路なども考慮して、表1に示す計画系、構造系の分類の中から選択して受講するとよい。受講科目が計

表1 4年次設置の専門教育科目の分類

環境・計画系		構造・材料・施工系	
設計演習	(2)	構造設計	(2)
建築経済	(2)	測量及び実習	(2)
建築計画	(2)	特別講義(木造建築論)	(2)
都市計画	(2)	構造デザイン	(2)
環境工学	(2)	構造解析法	(2)
建築設備演習	(1)	防災計画	(2)
特別講義(デザイン論)	(2)		
防災計画	(2)		
計 15単位		計 12単位	

(注)特別講義はどちらか一方のテーマを選択・受講する。測量及び実習、構造デザインは計画系の学生にも必要な科目である。

表2 建築実験の実験項目と担当者一覧

実験科目名と担当責任者	実験項目と担当者
建築基礎実験 (必修・1単位) (岡村)	化学実験(一般・化学教室) 物理実験(一般・物理教室) 専門実験 振動実験(石丸,白井,森泉,石垣) 構造強度(斎藤(公),岡村,黒木) 風洞・測定法(三橋,下村,広部/中山)
建築材料実験 (必修・1単位) (三橋)	セメント・コンクリート実験 (清水,中山,依田,平賀) 鋼材実験(平山,半貫,三橋,斉藤(俊))
建築環境実験 (必修・1単位) (井上,橋本)	騒音実験(井上,橋本,吉村,富田) 設備実験(早川,八町,蜂巣) 光実験(関口,橋本,富田)
建築構造実験 (必修・1単位) (斎藤(公),岡田)	構造安定実験(斎藤(公),岡田,中島) 構造部材実験(白井,森泉,清水(泰)) 土質実験(安達,山田) (いずれか一方を選択)

(注)各実験項目についての問い合わせは、各担当者の所属する研究室へ、実験項目の可否その他、総合的な質疑は各担当責任者に問い合わせる。

画・構造の両系にまたがってもよいが、自分の得意な分野を決めてそれを深めながら、時間の余裕があれば、広く知識を求めるのが理想である。

○建築学コースの専門教育科目に関する卒業条件

必修科目17単位、印の選択必修科目19科目以上を含むA系列選択科目50単位以上の単位を含めて82単位以上。

たとえば3年次終了までに、卒業条件に合う専門科目の修得単位総数が70単位だったとすれば、4年次の必修科目として卒業研究4単位、卒業制作2単位、計6単位があるから、4年次で6単位以上を修得すればよいことになる。卒業条件130単位を満たすためには、この他どの科目区分からでも自由に選べる単位が6単位ある。これを仮に専門教育科目でカバーしようとするれば、6+6=12単位であり、4年次前期で十分に修得できる単位数である。

○企画経営コースの専門教育科目に関する卒業条件

必修科目17単位、印の選択必修科目の中からA系列18科目以上、B系列11科目以上の単位を含めて82単位以上。

表3 平成13年度 建築設計担当者一覧

学年	科目	1組	2組
1 (船)	デザイン基礎 (必修)	(水) *柳田 武 大川 三雄 宇杉 和夫 河辺 哲雄 佐藤 直樹 前田 光一	(金) *石田 道孝 重枝 豊 今村 雅樹 赤羽 輝臣 八藤後 猛 横山 聡
	デザイン基礎 (必修)	(水) *柳田 武 赤羽 輝臣 本杉 省三 田島 夏樹 佐藤 直樹 山崎 敬三	(金) *石田 道孝 内田 尚宏 宇杉 和夫 杉 千春 八藤後 猛 中川 龍吾
2 (駿)	建築設計 (必修)	(月) *野村 歆 内田 尚宏 大川 三雄 城戸崎和佐 若色 峰郎 杉 千春 田島 夏樹 佐藤 慎也	(木) *宇杉 和夫 川口とし子 石田 道孝 中川 龍吾 本杉 省三 中村 弘道 山崎 敬三 佐藤 直樹
	建築設計 (必修)	(月) 小川 守之 *若色 峰郎 奥田 孝次 野村 歆 城戸崎和佐 佐藤 光彦 渡辺 富雄 横山 聡	(木) *本杉 省三 川口とし子 今村 雅樹 河辺 哲雄 宇杉 和夫 中村 弘道 佐藤 慎也 前田 光一
3 (駿)	建築設計 (必修)	(水) *若色 峰郎 小川 守之 今村 雅樹 椎名 英三 高宮 真介 高橋 晶子 佐藤 慎也 西沢 立衛	(金) *本杉 省三 飯田 善彦 関沢 勝一 奥田 孝次 アストリッドクライン 佐藤 光彦 曾我部昌史
	設計演習 (選択)	(水) *関沢 勝一 上利 益弘 若色 峰郎 椎名 英三 曾我部昌史 西沢 立衛	(金) *高宮 真介 アストリッドクライン 今村 雅樹 高橋 寛 柳田 武 藤江 秀一
4 (駿)	設計演習 (選択)	(火) *関沢 勝一 *片桐 正夫 高宮 真介 嶋田 幸男 藤江 秀一 上利 益弘 渡辺 富雄 宇於崎勝也	
院	建築デザイン (前期)	(土) *若色 峰郎 今村 雅樹	小泉 雅生 水谷 碩之
	建築デザイン (後期)	(土) *高宮 真介 小泉 雅生	水谷 碩之

*科目担当 内 事務担当

○4年次設置の特別講義の構成について
特別講義は、高宮真介教授の「デザイン論」と藤居秀男非常勤講師による「木造建築論」が併設されています。
高宮教授の「デザイン論」では、建築を設計する視点から、ルネッサンス以降近現代に至る広い範囲で、建築思潮上重要と思われる作家と作品を重点的に取り上げて解説し、建築意匠を論じます。特に、モダニズムの原点とその展開を概観するのが目標となっています。
一方の「木造建築論」の目指すところは、どのように建築をつくりあげるかという視点から、広く「木質構造建築」へアプローチする発想を養うことにあります。わが国は伝統的に木造の国です。古来伝承されてきた構法に加えて、2×4構法(枠組壁構法)、丸太組構法、大断面集成材による大空間構法など、多様化する木質構造の本質に迫るのが本講座の目標です。

企画経営コース4年次設置の専門科目は、コース独自のB系列科目がほとんどである。各自の卒業研究テーマとも関連づけて、クラス担任と相談のうえ選択するのがよい。

建築実験について

建築実験は、それぞれ10数名の班単位で行われる。各実験項目についての班分けや実施日程などは、別にプリントとして新学期の総合ガイダンス時にクラス担任から配布される。実験科目と実験項目、担当者一覧を表2に示す。

建築設計の受講について

建築設計は、～までが必修で、3年次後期の設計演習と4年次前期の設計演習は選択である。設計演習は、将来、主として設計(デザイン)方面に進む学生を対象とした課題のほか、インテリアやCADに興味をもつ人を対象とした課題によって構成されている。受講計画を立てる時には、自分の進路をよく考えてから選択してもらいたい。

ただし、建築学科を卒業後、実務経験2か年を経て受験することのできる1級建築士資格試験の設計製図の課題内容は、大学で建築設計までを修得していれば充分対応できる。

- 建築設計の各科目は、必修、選択ともに同時受講はできない。またデザイン基礎を、を修得しないで建築設計を、を、建築設計を、を修得しないで建築設計と設計演習を、そして建築設計と設計演習を修得しないで設計演習を受講することはできない。すなわち建築設計は、設置順に段階的に単位を修得しなければならない。
- その他、建築設計の受講に関する手続きの詳細は、学期初めに行う建築設計ガイダンスの際、配布するパンフレット「建築設計の課題及び案内」に記載してある。
- 建築設計関係科目に関する一般的な連絡は、5号館5階エレベータホールに掲示する。
- 本年度の建築設計関係科目の事務担当を表3に示す。

卒業研究について(各コース共通)

建築学科における卒業研究着手条件は、次のとおり。
卒業に必要な科目区分別修得単位総数が102単位以上であること。この「卒業に必要な科目区分別修得単位総数」に含まれる専門教育科目以外の単位は、それぞれ科目区分ごとに、総合教育科目14単位、外国語科目10単位(英語6単位以上)、保健体育科目2単位、基礎教育科目16

単位までとする。上の各科目区分内でそれ以上修得した単位は、「卒業に必要な修得単位総数」には算入しない。この条件を満たした学生に対しては、理工学部より卒業見込証明書が発行される。

卒業研究着手条件を満足する学生は、平成13年1月に

配布された「駿建」のテーマを参考にして、自分の希望する研究室に卒業研究の申し込みをすることができる。

申し込みの方法などについては、クラス担任から4年次総合ガイダンスの際に詳しい説明がある。

卒業研究について

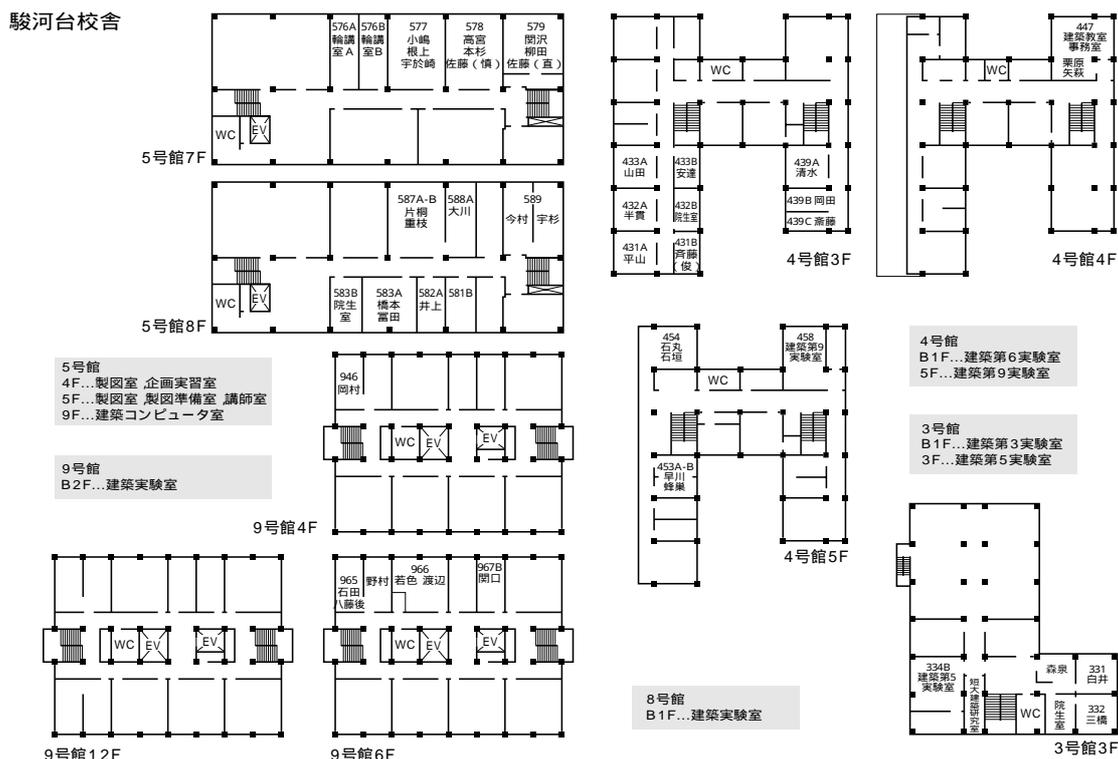
大学生活のしめくりとして、卒業研究を通じて一人の先生と1年間ひとつのテーマで勉強することは、大学の専門教育のなかで最も意義あるもののひとつである。大学に入って1年、2年、3年、と多くの先生方の講義を聴くことによって、それぞれの先生のもの考え方を学ぶことは、もちろん、視野を広める上に有益なことであるが、大学生生活最後の仕上げの時期に膝を交えて先生と話し合うことのできる卒業研究は、勉強すること以外に人生に

関する諸問題も話し合える機会として、学生諸君にとって大切な場であると思う。したがって、建築教室としては、諸君の教育の仕上げの場として、卒業研究を最も大切な科目と考えていることを、まず念頭に置いてもらいたい。

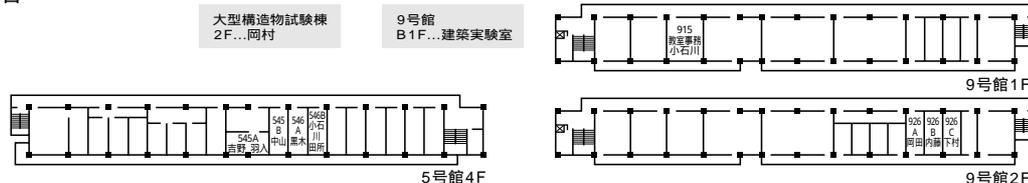
卒業研究着手の心がまえや手続きについてはクラス担任から詳しい説明があるが、卒業研究についての先生には、勉強のことはもちろん、就職の問題、さらにまた将来は結婚の問題といろいろとお世話になるものであり、学生諸君はこの卒業研究を完成させる過程を経て、ほんとうに大学生生活を有意義に終わることができるものと考えている。

建築教室関連マップ

駿河台校舎



船橋校舎



短期大学部建設学科

平成13年4月

はじめに

建設学科における卒業最低条件は、表1に示す単位以上を修得しなければならない。

すなわち、表1に示すように一般教育科目・外国語科目・保健体育科目から16単位以上、専門教育科目から40単位以上、一般教育科目・外国語科目・保健体育科目・専門教育科目の中から任意に6単位以上修得しなければならない。これは短期大学部の教育理念が、完成教育を目指したもので、諸君の勉学が一方に偏らず、広く建築全般にわたって学修できるようにしたものである。学園生活全般にわたり不明な点がある場合は、クラス担任の諸先生(表2)に相談すること。

次に、以上の事柄について詳しく説明しよう。

一般教育科目・外国語科目・保健体育科目

専門科目以外は、表3に示すように一般教育科目・外国語科目・保健体育科目の3グループに分けられている。各グループの卒業に必要な条件は、一般教育科目から10単位以上、外国語科目から4単位以上、保健体育科目からスポーツ(必修)を含めて2単位以上、計16単位以上を修得しなければならない。なお、理工学部建築学科への編入学希望者は、物理実験・を履修すること。

専門科目

専門科目は、表4に示すように必修科目(10科目・12単位)、共通選択科目(32科目・57単位)、コース選択必修科目(23科目・43単位)に大別される。ここで卒業に必要な条件は、必修科目14単位と選択必修科目[A][B][C]の各系列から、それぞれ決められた履修条件を、また2年次からの3履修コースのうちいずれか1コースを選択し、指定された専門教育科目から6単位以上を修得しなければならない。

なお専門科目の卒業条件は、必修・選択科目を含めて46単位以上を取得しなければならないが、選択コース以外の設置科目も自由に履修することができる。また科目区分によらず、建築を学ぶ上で幅広い範囲にわたって各科目を履修することが望ましい。

特に、サマーセッション(夏季集中授業)として行う授業もあるので注意すること。

表1 卒業に必要な最低単位

一般教育科目	10	
外国語科目	4	
保健体育科目	2	
小計	16	
専門教育科目	必修科目(10科目)	14
	選択必修科目	26
小計	40	
科目区分によらない任意の単位	6単位以上	
合計	62	

表2 クラス担任

学年	氏名	研究室	電話番号(内線)	E-mail(nihon-u.ac.jp)
1年	岩田 惇	大講堂体育館H	047-469-5(298)	iwata@gaea.jcn.
	中山 優	545・B	047-469-5(566)	nakayama@arch.jcn.
	黒木二三夫	546・A	047-469-5(444)	kuroki@arch.jcn.
	羽入 敏樹	545・A	047-469-5(479)	hanyu@arch.jcn.
2年	岡田 満	926・A	047-469-5(487)	okada@arch.jcn.
	内藤 正昭	926・B	047-469-5(433)	naitow@arch.jcn.
	田所辰之助	546・B	047-469-5(443)	tadokoro@arch.jcn.

表3 一般教育科目・外国語科目・保健体育科目

	科目	単位	履修方法
一般教育科目	哲学	2	左記のうちから10単位以上を修得しなければならない。
	哲学	2	
	倫理学	2	
	倫理学	2	
	国語国文	2	
	国語国文	2	
	法学	2	
	法学	2	
	経済学	2	
	経済学	2	
	社会学	2	
	社会学	2	
	物理学	2	
	物理学	2	
	物理実験	1	
	物理実験	1	
	化学	2	
化学	2		
化学実験	1		
化学実験	1		
教養ゼミナール	2		
総合講座	2		
外国語科目	英語講読	1	左記のうちから4単位以上を修得しなければならない。
	英語講読	1	
	英語表現法	1	
	英語表現法	1	
	英語講読	1	
	英語講読	1	
	ドイツ語	1	
ドイツ語	1		
保健体育科目	スポーツ(必修)	1	左記のうちから必修科目を含めて2単位以上を修得しなければならない。
	スポーツ	1	
	スポーツ(2年次)	1	
	体育・スポーツ科学	2	
合計	67		

必修科目について

必修科目（表4上部：10科目）は、すべての単位を修得しなければならない。なお、原則としてデザイン基礎

- ・ および建築実験 ・ は1年次において、建築設計
- ・ および建築実験 ・ は2年次において受講する。

1. デザイン基礎 ・ , 建築設計 ・

建築設計は建築の総合的表現の修得を目的とするものであるから、長時間の実技的な習練が必要である。そのためには、各課題を所定の時間内に確実に完了し、力量を積み重ねていかなければならない。

受講票は、建築設計専用の受講票を使用するが、これはガイダンスの際に配布するので、所要事項を記入し、写真を貼付して提出すること。

各課題については、中間指導日時、作品提出日時と指定の班別の担当師が課題別に発表される。中間指導は出題された課題について平面、断面などスケッチを提出して担当師の指導を受ける。

なお、病気、事故などで作品を提出できない場合は、提出日の前後1週間以内に理由書および診断書などを事務担当に提出し、その指示を受けること。また、デザイン基礎 ・ を修得しないで建築設計 ・ を履修することはできない。

2. 建築実験 ~

建築実験の内容を以下に示す。

- 建築実験 (i) 構造強度実験
(ii) 光・色の実験

- 建築実験 (i) 鋼材実験
(ii) 梁のたわみ実験

- (iii) 建築に関する化学実験

- 建築実験 (i) セメント・コンクリート実験
(ii) 風洞実験

- 建築実験 (i) 振動実験
(ii) 音の実験

学年始めに各担当師より詳細な説明が行われる。実験は重複しないように指定の班別を実施されるので、スケジュールに従って受講しなければならない。

合否は出席・レポートの考査により各実験別に採点し、全実験の総合的な評価によって判定される。なお、レポート受理の際には受領書を渡されるので、合否が判定されるまで保管すること。

やむを得ない理由等により所定の班および期日に受講できない場合は、事前もしくは直後に各実験担当師へすみやかに申し出て指示を受けること。なお、建築実験を修得しないで建築実験を履修することはできず、建築実験を修得しないで建築実験を履修することはできない。

履修科目の登録単位数の上限について

前学期および後学期の1年間に履修する科目として登録する単位数は、46単位以下でなければならない。ただし、サマーセッションの履修登録単位数はこの上限に含まない。また、前学期における成績優秀者は、登録単位数の上限を超えて履修登録することができる。

詳細についてはクラス担任の指導を受け、十分注意して履修計画をすること。

表4 専門教育科目

	1年次		2年次		履修方法	
		単位		単位		
必修	建築実験	1	建築実験	1		
	建築実験	1	建築実験	1		
	デザイン基礎	2	建築設計	2		
	デザイン基礎	2	建築設計	2		
	特別講義	1	特別講義	1		
共通選択必修	A	微分積分学	2	建築情報処理	2	このうちから2単位以上を修得しなければならない。
		微分積分学	2	微分方程式	2	
		線形代数学	2	微分方程式演習	1	
		線形代数学	2			
		コンピュータリテラシ	1			
	B	情報処理	2			このうちから6単位以上を修得しなければならない。
		工業数学	2			
		応用力学	2	構造力学	2	
		応用力学	2	構造力学演習	1	
		応用力学演習	1	コンピュータ支援構造解析	1	
	C	構造力学	2	基礎力学	2	このうちから6単位以上を修得しなければならない。
		構造力学	2	各種構造	2	
		構造力学演習	1			
		構造力学演習	1			
		建築計画	2	建築法規	2	
コース選択必修	建築エンジニアリングコース	建築計画	2	都市計画概論	2	このうちから6単位以上を修得しなければならない。
		建築計画	2	建築設備概論	2	
		建築材料	2	建築施工法	2	
		建築材料	2	建築施工法	2	
		一般構法	2			
	環境工学			環境工学	2	このうちから6単位以上を修得すること。
				環境工学	2	
				構造設計法	2	
				構造設計演習	1	
				鉄筋コンクリート構造	2	
	スペースデザインコース			鋼構造	2	このうちから6単位以上を修得すること。
				土質及び基礎構造	2	
				耐震・防災計画	2	
				建築計画	2	
				建築史	2	
居住プランニングコース			建築史	2	このうちから6単位以上を修得すること。	
			美術・様式史	2		
			空間デザイン	2		
			デザイン論	2		
			設計演習	1		
		卒業制作	2	このうちから6単位以上を修得すること。		
		生活と住まい	2			
		インテリア計画	2			
		インテリア計画演習	1			
		居住プラン及び実習	2			
		企画経営学概論	2			
		木質構法	2			
		卒業制作	2			
	合計	42	合計	72		

専門科目使用教科書並びに参考書

建築学科

(教科書は太字, その他は主要参考書)

学科目名	書名	編著者名・訳者名など	発行所名	定価	取扱所
建築概論	つどいの空間	ドーム建築企画編集委員会	日本建築センター他	3,620 (税別)	書店
	建築通論	建築通論編集委員会編	彰国社	3,500	岡村研究室 (大型構造物試験棟)
	空間体験 世界の建築・都市 デザイン	日本建築学会編	井上書院	3,000	書店
	建築への誘い	近江 栄, 宇野英隆編	朝倉書店	2,600	書店
建築の計画と技術	建築の構造とデザイン	斎藤公男(監訳)	丸善	2,884	書店
建築実験	建築実験法	建築系学科共著	彰国社	5,077	清水研究室(439-A)
応用力学	建築材料力学 材料力学(上・中)	榎並 昭 チモシェンコ原著 訳・鶴戸口英善, 他2名	彰国社 東京図書	2,783 (上)2,500 (中)2,500	安達研究室(433-A) 書店
	材料力学(上・下)	訳・倉西正嗣, 他2名	裳華房	(上)3,500 (下)3,300	書店 書店
	応用力学演習	建築応用力学演習	加藤 渉, 榎並 昭	共立出版	2,205
構造力学	建築構造力学(上巻) 建築の構造とデザイン	齋藤謙次 斎藤公男(監訳)	理工図書 丸善	2,350 2,884	ガイダンス時に案内 書店
	建築構造力学(下巻) 骨組構造の解析 耐震構造の設計	齋藤謙次 佐藤稔雄, 中村恒善 日本建築学会関東支部	理工図書 彰国社 日本建築学会 関東支部	2,350 5,356 5,000	ガイダンス時に案内 書店 日本建築学会, 書店
	建築の構造とデザイン	斎藤公男(監訳)	丸善	2,884	書店
構造力学演習	建築構造力学演習(上,下)	齋藤謙次	理工図書	各1,750	ガイダンス時に案内
鉄筋コンクリート構造	コンクリート構造	本岡順二郎	彰国社	2,835	ガイダンス時に案内
鋼構造	鉄骨の設計	若林 実	共立出版	2,781	書店
	鋼構造の設計	佐藤邦昭	鹿島出版会	3,502	書店
	鋼構造設計演習	鋼材倶楽部	技報堂	4,429	書店
	鋼構造設計規準	日本建築学会編	日本建築学会	5,768	日本建築学会, 書店
構造設計法および演習 構造設計	建築物荷重指針・ 同解説	日本建築学会	日本建築学会	7,880	日本建築学会, 書店
	鉄筋コンクリート構 造計算規準・同解説	日本建築学会	日本建築学会	5,974	日本建築学会, 書店
	鋼構造設計規準	日本建築学会	日本建築学会	5,768	日本建築学会, 書店
	鋼構造塑性設計指針	日本建築学会	日本建築学会	3,296	日本建築学会, 書店
空間構造	建築の絵本 建築構造のしくみ 力の流れとかたち	川口 衛他	彰国社	2,400	書店
	建築の構造とデザイン	斎藤公男(監訳)	丸善	2,884	書店
	木による空間構造の アプローチ	今川憲英・岡田 章	建築技術	4,800	書店
	柱のない空間 スポーツ・イベント・ 展示ホール	日本建築学会	彰国社	1,900	斎藤研究室(439-C)
	つどいの空間 ドーム建築のデザイ ンと技術	ドーム建築企画編集委 員会	日本建築セン ター他	3,620 (税別)	書店

学科目名	書名	編著者名・訳者名など	発行所名	定価	取扱所
構造解析	建築技術者のための有限要素法入門	佐藤稔雄編著	理工図書	2,884	書店
振動工学	構造物の動的解析	石丸辰治	石丸研究室	2,000	石丸研究室(454)
耐震構造	構造物の動的解析 Part	石丸辰治	石丸研究室	1,500	石丸研究室(454)
建築材料()()	建築材料用教材	日本建築学会編	丸善	1,900	清水研究室(439-A)
建築施工法, 建築積算	施工・見積	加藤賢三, 他 2	彰国社	4,980	半貫研究室(432-A)
一般構法	図説テキスト建築構造(構造システムを理解する) 構造用教材	日本建築学会	彰国社	2,600 (税別)	書店
			日本建築学会	1,854	書店
一般構法	建築構法 建築の構造システム	内田祥哉 平山善吉, 他 4	市ヶ谷出版	2,800	書店
			理工図書	4,800	書店
地盤基礎工学	建築基礎工学 建築基礎構造設計指針	山肩邦男 日本建築学会	朝倉書店	4,800	書店
			日本建築学会	6,090	日本建築学会, 書店
デザイン基礎	建築図学概論	若色峰郎, 柳田 武他	彰国社	3,000	書店
デザイン基礎	建築設計教室 建築デザインの製図法から簡単な設計まで 新訂建築製図	勝又, 宮下, 本杉 武者英二, 永瀬克己 日本建築学会	彰国社	3,000	書店
			彰国社	2,369	書店
			彰国社	1,648	書店
建築計画	建築計画ノート	宮川英二	理工図書	2,884	書店
建築計画	建築計画	宮川英二, 関沢勝一 他	理工図書	3,260	書店
建築計画	設計方法 設計方法論 設計方法 設計方法と設計主体 デザインの鍵 設計方法論 建築・都市計画のための空間学事典 建築・都市計画のための調査・分析方法	日本建築学会 建築計画委員会 設計方法小委員会	彰国社	1,957	書店
			彰国社	2,400	書店
		日本建築学会 建築計画委員会 設計方法小委員会	丸善	2,200	書店
			丸善	2,900	書店
		井上書院	3,605	書店	
井上書院		書店			
建築計画	日本住宅の空間学 新建築学大系・23 建築計画	宇杉和夫 原 広司, 鈴木成文他	理工図書	3,200	宇杉研究室(589)
			彰国社	5,562	書店
建築計画	高齢者・障害者の住まいの改造とくふう 建築設計資料14 心身障害者福祉施設設計計画パンフレット「ハンディキャップ者配慮の設計資料」	野村 歆 野村 歆 日本建築学会	保健同人社	2,730	書店
			建築資料研究社	3,500	書店
			彰国社	2,266	書店

学科目名	書名	編著者名・訳者名など	発行所名	定価	取扱所
都市計画	都市計画第3版 日本近代都市計画の 百年 「都市計画」の誕生	日笠 端・日端康雄	共立出版	3,885	書店
		石田頼房	自治体研究社	2,548	書店
		渡辺俊一	柏書房	3,600	書店
都市計画	都市の景観 新しい都市デザイン	G.カレン 北原理雄(訳)	鹿島出版会 (SD選書)	1,890	書店
		J.バーネット 倉田直道・洋子(共訳)	集文社	3,675	書店
建築法規及び行政 短大建築法規	基本建築関係法令集 上巻(法令編) 建築法規用教材	建設省住宅局建築指導課	霞ヶ関出版	2,800	書店もしくは指定さ れた日に購入
		日本建築学会(建築法制 委員会)編	日本建築学会	1,900	書店
建築史概論	西洋建築様式史図集 西洋建築史図集	太田静六	理工図書	2,300	建築史研究室(587-A,B)
		日本建築学会編	彰国社	2,575	建築史研究室(587-A,B)
建築史	日本建築史図集 日本建築史序説	日本建築学会編	彰国社	2,240	建築史研究室(587-A,B)
		太田博太郎	彰国社	2,884	書店
建築史	図説 近代建築の系譜 日本の近代建築 上, 下 図説 近代日本住宅 史 建築モダニズム	大川三雄 他 藤森照信	彰国社 岩波新書	3,200 各620	建築史研究室(587-A,B) 書店
		大川三雄 他	鹿島出版会	3,200	書店
		大川三雄 他	(株)エクスナレ ッジ	3,000	書店
建築史	東洋建築史図集	日本建築学会編	彰国社	3,193	建築史研究室(587-A,B)
環境工学	建築音響と騒音防止 計画 建築の音環境設計 (日本建築学会設計 計画パンフレット4)	木村 翔	彰国社	3,420	井上研究室(583-A)
		日本建築学会編	彰国社	2,039	書店
環境工学	建築環境工学用教材 (環境編) 建築気候	日本建築学会	日本建築学会	1,854	書店
		斎藤平蔵	共立出版	2,900	書店
環境工学	実務的騒音対策指針 第二版 建物の遮音設計資料	日本建築学会編	技報堂出版	4,500	井上研究室(583-A)
		日本建築学会編	技報堂出版	4,800	書店
建築設備	建築設備概論 環境工学用教材 (設備編) 空気調和設備の実務 の知識 衛生・給排水設備の 実務の知識 暮らしの技術として の建築設備入門	吉田 燦	彰国社	4,200	早川研究室(453)
		日本建築学会編	日本建築学会	1,900	早川研究室(453)
		空気調和・衛生工学会編	オーム社	4,350	書店
		空気調和・衛生工学会編	オーム社	4,330	書店
		吉田あきら 他	理工図書	3,950	書店

専門科目使用教科書並びに参考書

短期大学部建設学科

(教科書は太字, その他は主要参考書)

学科目名	書名	編著者名・訳者名など	発行所名	定価	取扱所
建築実験	建築実験法		彰国社	4,980	内藤研究室(926-B)
デザイン基礎	建築デザインの製図法から簡単な設計まで コンパクト建築設計資料集成 住居	武者英二, 永瀬克己	彰国社	2,369	小石川・田所研究室 (546-B)
		日本建築学会編	丸善	6,901	書店
応用力学	建築材料力学 建築応用力学	榎並 昭	彰国社	2,783	ガイダンス時に指示
		小野 薫, 加藤 涉	共立出版	2,310	
応用力学演習	建築応用力学演習 応用力学演習問題 解析法	加藤 涉, 榎並 昭	共立出版	2,206	ガイダンス時に指示 ガイダンス時に指示
		西村敏雄	理工図書	4,935	
構造力学	建築構造力学(上巻)	齋藤謙次	理工図書	2,350	ガイダンス時に指示
構造力学	建築構造力学(下巻)	齋藤謙次	理工図書	2,350	ガイダンス時に指示
鉄筋コンクリート構造	コンクリート構造	本岡順二郎	彰国社	2,835	中山研究室(545-B)
鋼構造	鉄骨の設計	若林 實	共立出版	2,781	岡田研究室(926-A)
構造設計法 構造設計演習	わかりやすい鉄筋コンクリート構造の設計 鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説	藤田 幹, 内藤正昭	理工図書	3,400	内藤研究室(926-B)
		日本建築学会編	日本建築学会	5,974	書店
土質力学及び基礎構造	建築基礎構造設計指針	日本建築学会編	日本建築学会	5,974	書店
建築計画	建築計画 1	岡田光正 他	鹿島出版会	3,500	小石川・田所研究室(546-B)
建築計画	住宅の計画学	岡田光正 他	鹿島出版会	2,500	小石川・田所研究室(546-B)
建築計画	建築計画 2	岡田光正 他	鹿島出版会	4,200	小石川・田所研究室(546-B)
環境工学	建築環境工学用教材・環境編 建築音響と騒音防止計画 建築気候	日本建築学会編	日本建築学会	1,854	吉野・羽入研究室 (545-A)
		木村 翔	彰国社	3,420	
		齋藤平蔵	共立出版	3,090	
建築法規	建築基準法法令集	オーム社編	オーム社	1,000	書店
都市計画概論	都市計画	日笠 端	共立出版	3,500	横内研究室(237-B)
建築史	日本建築史図集	日本建築学会編	彰国社	2,240	小石川・田所研究室(546-B)
建築史	西洋建築史図集 図説 近代建築の系譜	日本建築学会編	彰国社	2,575	小石川・田所研究室(546-B)
		大川三雄 他	彰国社	3,200	小石川・田所研究室(546-B)
建築設備概論	建築設備概論 環境工学用教材(設備編)	吉田 燦	彰国社	3,914	545-A 室
		日本建築学会編	日本建築学会	1,854	
空間デザイン	建築構造のしくみ	川口 衛	彰国社	2,625	黒木研究室(546-A)
一般構法	建築の構造システム	平山善吉, 他 4 名	理工図書	4,800	内藤研究室(926-B)
建築材料	建築材料学 建築材料用教材	笠井芳夫, 他 2 名	理工図書	3,811	建築教室事務室(915)
		日本建築学会編	丸善	1,900	
建築施工法	最新 建築施工法(10版)	鯉田和夫 他	技報堂出版	未定	建築教室事務室(915)
情報処理, 建築情報処理	FORTRAN 77 プログラミング入門からグラフィックスまで	川崎, 他共著	培風館	1,980	書店
デザイン論	空間体験	日本建築学会論	井上書院	3,000	書店

着任のご挨拶



教授
早川 真

この度、吉田燦先生ご退任の後を受けて着任いたしました。伝統ある日本大学理工学部の建築学科にお招きいただき、大変光栄に思います。特に、私は名古屋工大を卒業した後は東京工大で修士課程を修了し、学位も東京工大から授与され、日本大学とは縁がありませんでしたので、このように声を掛けていただいた日本大学の懐の深さ、広さにいたく感激しております。

一方では、責任の重さを両肩にずっしりと感じております。任期も限られておりますので、私が建設会社の研究所で、実務や研究で得た多くの感動を学生の皆さんに建築の面白さというキーワードで伝えることを最大の目標とするつもりでいます。

以下に私の略歴をご披露いたします。

1943年3月、山口県下関市で生まれ、高校生活までを過ごしました。1968年4月、東京工科大学院を修了後、鹿島建設に入社し、技術研究所に希望通り配属となりました。ちょうど高度成長の真っ最中で新鋭工場が続々と建設され、私は高熱工場を中心に作業環境計画と外部への公害防止計画を担当して、全国各地の現場を指導して廻り、はてはインドネシアのアサハンのアルミニウム精錬工場まで出かけ、自分の環境設計で問題ないかどうか検証いたしました。この間、設計ツールとして換気・熱計算プログラムを次々と開発し、LBL（ローレンスパークレー研究所）による世界各国のプログラム50点のレビューで、どういうわけか先頭にノミネートされたりしました。

私が入社した年に日本初の超高層の霞ヶ関ビルが竣工しました。以後、超高層ビルが続々と立ち並びましたが、居住環境や設備の分野では今まで経験しなかったいろいろな問題が発生しました。その一つが、その高さが原因で起こる冬季の煙突効果による圧力分布や気流が引き起こす諸問題

です。たとえば、エントランス階における外気の流入による暖房負荷の増大や温熱環境の悪化、過大な圧力による扉の開閉の困難などがあります。冬の深夜、高層ビルの内部を計測し、先に開発したプログラムを用いて解析するなどして、その実態と工学的対策を明らかにしてきました。そして、高層ビル外壁の隙間を丸ごと評価する簡易計測法を開発し、構造種別と隙間特性の暫定値を学会に提案し広く利用されています。1990年に、これらをまとめて東京工大より学位を授与されました。

1985年頃からは大型スポーツ施設を中心に大空間建築のブームが始まり、社内のプロジェクトに建築設備・居住環境の分野のまとめ役として参加いたしました。特に、雪国で冬季も土のグラウンドでラグビーや野球の練習を可能とするように建設された秋田スカイドームでは、膜屋根上の雪を安全かつ確実に落とす技術開発を担当し、現地にカットモデルを作り、一冬籠って実験を重ね「間欠暖房による滑雪システム」を開発しました。出雲ドームでは数々の環境配慮を行いました。これら一連の膜屋根大空間の創造を対象に、環境・設備担当代表者として、建築設計 構造設計代表の方々とともに1997年建築学会賞（業績）を受賞いたしました。

この間、技術研究所で建築環境部長を務めましたが、1999年より、研究所の次長、主席研究員として研究所全体の運営に関わりました。

特に、研究所単独でのISO14001の認証取得活動に際しては環境管理責任者として全体をとりまとめ、本年1月の登録に漕ぎつけることができました。

冒頭にも述べましたが、これらの体験を踏まえて、日大キャンパスの地球環境負荷低減と快適性の増大などへの研究につなげ、学生諸氏にその魅力を伝えたいと願っています。

最後に、趣味ですが、沼津は大瀬崎の近くに知人から譲りうけた30フィートセーリングクルーザーを浮かべており、月に一度遊びに（と言っても、大半はメンテナンス）行っています。ヨットをやりたと思われる方は大歓迎いたします。ご連絡をお待ちしております。

（はやかわ しん）

着任のご挨拶



助手
石垣 秀典

平成4年3月に日本大学大学院を修了して竹中工務店に入社、9年間の修行(?)を終えて、このたび石丸研究室の助手として勤務することになりました。

会社では構造設計に4年間、作業所に2年間、ニューフロンティアエンジニアリング本部という技術開発を行う部署に3年間所属しておりました。技術研究所に配属された経験はないので研究者としてはまだまだ未熟ですが、開発・設計・生産という建設会社の根幹を成す3つの部署に配属されて培った経験を、教育の場で活かしてゆければと考えております。

また、1995年の阪神・淡路大震災は、ちょうど神戸メリケンパークの現場を担当しているときに遭遇いたしまして、対震構造の必要性を再認識いたしました。この地震を契機に免・制震構造物は急激に増加したものの、震災で被害の多かった戸建木造住宅・伝統建築物などへはまだまだ普及していないのが現状であります。

今後は、大学の一研究者として、大手建設会社ではなかなか踏み込めなかった領域へ積極的にアプローチし、対地震構造システムの普及を通じて社会に貢献してゆきたいと考えております。

(いしがき ひでのり)



助手
富田 隆太

本年度より助手に就任いたしました富田隆太です。

私が日本大学理工学部建築学科に学生として入学したのは、今からちょうど6年前になります。学生時代を振り返りますと、思い描いていたよりも建築学には多くの分野があり、トータル的に建築物を考えていかなければならないことを実感いたしました。

特に、専門科目を修得する課程で、環境工学の分野には特に興味をひかれ、この分野を専門としたいという思いが学年をますます強くなっていきました。

4年生では、幸いにも建築環境工学の研究を専門とする木村・井上研に所属することができました。現在までの研究テーマですが、4年生から大学院修士課程の間に、住宅床の歩行感に関する研究を進めてまいりました。

現在、住宅床に施工される床材には多種多様なものがあり、また、床は常に人が接する建築物の重要な部位であるため、多くの要求性能が求められます。特に、木質系の床材は、音響性能を重視しすぎますと、柔らかくなる傾向がみられ、『木』という本来の素材の感覚を失う傾向があります。私は、3年間の中で特に高齢者と成人の比較から研究を進めてまいりました。今後は、よりいっそう居住性能の向上を考え、人間工学的な面もと入れながら『対人』に関する研究を進め、住宅の各部位にフィードバックしていきたいと考えています。また、よりよい人材の育成が行え、学生から頼りにされる教育者を目指して、自分自身を高めていきたいと考えています。よろしく願いいたします。

(とみた りゅうた)

平成12年度 建築学科就職状況

建築学科就職事務室

平成13年3月

概況

本年度の2月末現在における就職内定状況を、昨年度（平成11年度）の同時期と比較して表-1に示す。昨年に比べると現時点における内定者は、学部は179名とほぼ昨年並みだが、大学院は45名と昨年よりやや増加している。この原因は、昨年と比較し求人会社数が増加したこと（859社 1,519社）が一つの理由といえるが、いわゆる「建設業界の不況」はいまだに続いており、求人数の内訳を昨年と比較してみると、コンピュータ・情報関連（31社 386社）と製造業関連（56社 582社）の求人件数が増加傾向にあるが、建設業（184社 190社）の求人数は昨年並みである。内定者数の割合を昨年と比較してみても、コンピュータ・情報関連、製造業関連は若干増加し、建設業は23.2% 18.7%と減少している。このような状況は、今後数年はまだ続くように思われるので、就職先を特定の会社にこだわらず、柔軟な考え方を持って就職活動をしていく必要があるのではないだろうか。

求人会社数の状況

求人会社数の月別集計を表-2に、求人会社の業種別内訳を表-3に示す。97年度より就職協定が廃止されて以来、建築学科の求人申し込みが年々早くなっているため、昨年度より1月からの集計を行っている。

3月の323社をピークとし、3～5月に489社（56.7%）が集中した。全体の1,519社は、平成11年度の620

表-1 就職状況の概要

注：()内は女子内数

	平成12年度			平成11年度		
	学部	大学院		学部	大学院	
		建築	不動産		建築	不動産
就職希望者数	229(69)	62(12)	8(1)	247(77)	61(10)	9
就職内定者数	179(55)	45(8)	8(1)	184(49)	38(5)	5
大学院進学者数(留学希望・その他含)	75(18)	4(2)	0	80(15)	14(4)	0
就職・進学者数	254(73)	49(10)	8(1)	264(64)	50(9)	5
求人会社数	1,519			620		

社に比べると約2.5倍増、一昨年の859社に比べると約1.8倍増となっているが、求人会社の業種別内訳を昨年度比でみると、コンピュータ・情報関連、製造業関連の求人数は大幅な増加傾向にあるが、建設業の求人数は昨年並みである。この傾向は来年度も継続すると予想され、求人会社数の状況には十分注意してゆく必要があるだろう。

就職内定者の内訳

平成13年2月末までに建築教室に報告のあった就職内定者数の業種別内訳の概要を、以下に示す。

1) 建設業への内定者(53名)

53名は全体の18.7%(昨年:23.2%)となっており、絶対数では昨年の73名に対して20名減少している。また、推薦区分でみると、教室推薦での内定者は45.2%を占め、大手企業(表-4中の竹中～フジタ)8社のみでは83.3%を占めているが、

大手企業に関しては昨年の53.0%に比べると3割増加した。また、ここ数年、現場施工・管理を希望の内定者については、企業が主催する現場見学会への参加者の中から、教室推薦者を企業が逆指名する形をとって

表-2 月別求人件数 注:再募集は除く

	平成12年度	平成11年度
1月	7	4
2月	19	10
3月	323	151
4月	290	167
5月	248	87
6月	164	84
7月	165	54
8月	65	10
9月	86	12
10月	46	8
11月	37	3
12月	40	18
1月	27	7
2月	2	5
合計	1,519	620

表 - 3 求人・内定者の内訳

	求人会社数				内定者数								内定者 数割合
	大企業	中企業	小企業	計	大企業		中企業		小企業		計		
					学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院	
A 建設業	65	70	55	190	3(4)	8(2)	10(2)		2(1)	1	4(7)	9(2)	18.7
B 住宅・不動産	19	34	9	62	5(14)	3	18(7)		4(2)	2(1)	7(23)	5(1)	29.6
C 設備	23	33	15	71	10(5)	2	3(1)	1	1	1	14(6)	4	6.3
D 設計事務所・インテリア	12	22	73	107	3(3)	2		4(2)	12(8)	5(1)	15(11)	11(3)	9.2
E 建材・エンジニアリング	27	29	15	71	1(1)	1	1			1	2(1)	2	1.4
F コンピュータ・情報	75	186	128	389	1	2(1)	2		2	1	5	3(1)	2.8
G 製造業・営繕・その他	221	261	100	582	3(2)	3(1)	2	1	4(1)		9(3)	4(1)	4.6
小計				1,472	10(29)	21(4)	36(10)	6(2)	25(12)	11(2)	166(51)	38(8)	72.5
H 官公庁・大学 法人				25 22							5(3)	4	3.2
I 進学 (大学院・研究生・留学・その他)											60(13)	2(1)	21.8
J 自営業											2		0.7
総計				1,519							23(68)	47(9)	100.0
											284(77)		

以下の統計は学部、大学院建築学専攻に関するものである。

注：大企業...従業員500名以上，中企業...従業員100名以上，小企業...従業員99名以下，()内は女子内数，求人会社数...再募集は除く。

いたのが特徴としてあげられる。それ故、現場を希望する学生諸君は、積極的に各企業の現場見学会に参加する必要がある。

2) 住宅・不動産部門への内定者 (84名)

本部門での内定者率は全体の29.6% (昨年：18.5%)，絶対数では昨年の58名に対して26名増加している。またその中でも積水ハウスや旭化成ホームズ、大和ハウス工業など大手の住宅産業への内定者数が増加していることが特徴づけられる。しかし、求人者数は昨年(67社)と比較して今年(62社)も同様であり、応募者も増加傾向にあり、一層競争が激しくなっている。平成13年度も学生個人の能力を問われることは必至であり、一層の努力を期待したい。

このような状況は推薦区分の集計結果からもはっきりとみることができ、自由応募による内定率は、大手の企業を含め84.5%にまで達しており、昨年と同様に会社側の判断によ

る自己能力重視型および人物評価型に移行している様子がうかがわれる。
3) 設計事務所・インテリア関連への内定者 (26名)

内定率は全体の9.2% (昨年：11.5%) となっており、絶対数では昨年の36名に対して10名減少している。毎年、意匠設計を希望する学生諸君はかなり多いが、これらの業界の状況を見ると、各自の能力・センスの向上に対する努力を一層行うことや、さらには就職希望職種の方角転換等についても、真剣に考える必要があるのではないだろうか。推薦の内訳表をみても、自由応募の比率は69.2%に達しており、昨年よりもさらに一層、自己能力が問われてきている様子をはっきりと表れている。また、各研究室の先生方の推薦による内定率は30.7%を示しており、昨年の10%に比べ内定率が増加しており、卒論担当教員との相談も重要であることがうかがわれる。

4) 官公庁・法人関連への内定者

(14名)

昨年度の15名に比べると、ほぼ昨年並みといえるが、官公庁の内定者は減少傾向にある。業界の不況の影響をそれほど受けることなく、安定した業種であるとともに、行政関連への進出は、大学としても大いに賞賛される場所であるため、今後、大学院のみならず学部生にも一層の健闘が期待される。

平成13年度の就職戦線に向けて

平成13年度は、依然として厳しい状況が予想される。早めに研究室の先生と相談をしながら各自でも情報収集をし、十分な対策を立てることを望む。また、企業の規模や知名度にこだわらず、企業および仕事内容を広い視野のもとでみて、自己の能力の発揮できる企業を選ぶことを期待する。また、大学院進学についても大学側より奨励しており、多くの学生が志望されることを願っている。

(平成12年度就職担当 教授・三橋博巳)

表 - 4A 就職先の内訳 建設

注：(株)は省略 ()内は女子内数

会社名	教室推薦		研究室推薦		縁故推薦		自由応募		計		会社名	教室推薦		研究室推薦		縁故推薦		自由応募		計	
	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院		学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院
竹中工務店	1	1(1)							1	1(1)	日本国土開発								1	1	0
清水建設	1								1	0	穴吹工務店	1								1	0
鹿島建設					1				1	0	ナカノコーポレーション	1(1)							2(2)	3(3)	0
大成建設	1	1							1	1	長谷工コーポレーション	2	1						1	2	2
大林組	1	1							1	1	新日本建設								1	1	0
戸田建設	1								1	0	鉄建建設			1						1	0
熊谷組	1								1	0	太陽工業			1(1)						0	1(1)
フジタ	1		1						2	0	加賀田組								1	1	0
前田建設工業	1				1				2	0	共立建設								1	1	0
西松建設	1								1	0	京急建設			1						1	0
ハザマ		1							0	1	横河工事			1						1	0
安藤建設	1								1	0	林建設						1			1	0
東急建設			1(1)						1(1)	0	近藤建設								2	2	0
銭高組		1							0	1	松尾工務店			1						1	0
住友建設					1				1	0	ミサワホーム販売建設								1(1)	1(1)	0
小田急建設	1								1	0	阿部建設								1	1	0
名工建設	1								1	0	ヤマウラ								1	1	0
浅沼組						1			1	0	開成コーポレーション								1(1)	1(1)	0
北野建設	1								1	0	安田建設								1	1	0
飛鳥建設	1								1	0	中島建設			1(1)						1(1)	0
松井建設						1			1	0	魚津社寺工務店				1					0	1
総計	18(1)	8(1)	7(2)	2(1)	4	0	15(4)	1	44(7)	8(2)											

表 - 4B 就職先の内訳 住宅・不動産

注：(株)は省略 ()内は女子内数

会社名	教室推薦		研究室推薦		縁故推薦		自由応募		計		会社名	教室推薦		研究室推薦		縁故推薦		自由応募		計	
	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院		学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院
積水ハウス			1				5		6	0	TOKAI	1								1	0
旭化成ホームズ							4(1)		4(1)	0	アサヒファシリティアジメント								1(1)	1(1)	0
大和ハウス工業	1(1)				2		2(1)		5(2)	0	小田急不動産								1(1)	1(1)	0
住友林業							2(1)		2(1)	0	東急アメニックス								2(1)	2(1)	0
ミサワホーム							1	1	1	1	野村ホーム			1						1	0
エス・バイ・エル					1		2		3	0	アイフルホームテクノロジー								2(1)	2(1)	0
大東建託							7	1	7	1	千葉ミサワホーム								1	1	0
三井ホーム							1(1)		1(1)	0	千葉パナホーム								1	1	0
スターツ	1(1)						1		2(1)	0	日神不動産								1	1	0
大京							2(1)		2(1)	0	興和不動産						1(1)			1(1)	0
大京管理								1	0	1	近鉄ホーム建設								1(1)	1(1)	0
積水ハイム							1		1	0	旭化成シティガイ								1(1)	1(1)	0
一条工務店							8(2)		8(2)	0	丸紅不動産販売								1	1	0
日本総合住生活							2(1)		2(1)	0	多摩中央ミサワホーム								1	1	0
クボタハウス							1		1	0	第一ビルディング								1	1	0
富士ハウス							2		2	0	ひらい建設工業								1	1	0
鹿島建物総合管理					1(1)				1(1)	0	宝工務店								1(1)	1(1)	0
大成プレハブ	2								2	0	マストレ								1	1	0
スウェーデンハウス							1		1	0	ゴールドクレスト								2(1)	1	2(1)
中央住宅	1								1	0	野村土地建物								1	1	0
レオパレス21							1(1)		1(1)	0	天草産業								1(1)	1(1)	0
土屋ホーム							1(1)		1(1)	0	古河林業								1(1)	0	1(1)
ダイア建設							1		1	0											
総計	8(2)	0	2	0	5(2)	0	68(19)	5(1)	79(23)	5(1)											

表 - 4C 就職先の内訳 設備

注：(株)は省略 ()内は女子内数

会社名	教室推薦		研究室推薦		縁故推薦		自由応募		計		会社名	教室推薦		研究室推薦		縁故推薦		自由応募		計		
	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院		学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院	
トステム							6(3)	1	6(3)	1	ポーズ				1					0	1	
クリナップ			2(1)				1(1)		2(2)	0	大西熱学							1		1	0	
大気社		1							0	1	ソーセツ							1(1)		1(1)	0	
エルゴテック			1						1	0	アセント								1		0	1
菱和設備			1						1	0	太建工業	1									1	0
総計											1	1	4(1)	1	0	0	9(5)	2	14(6)	4		

表 - 4D 就職先の内訳 設計事務所・インテリア・コンサルタント

注：(株)は省略 ()内は女子内数

会社名	教室推薦		研究室推薦		縁故推薦		自由応募		計		会社名	教室推薦		研究室推薦		縁故推薦		自由応募		計		
	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院		学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院	
桂設計				1(1)					0	1(1)	アーキスタジオ川口								1	0	1	
安井建築設計事務所				1(1)					0	1(1)	巧建社								2(1)		2(1)	0
NTTファシリティーズ				1					0	1	橋建築設計事務所								1(1)		1(1)	0
三井デザインテック							1(1)		1(1)	0	グラフィックアンドデザイン								1(1)		1(1)	0
丹青社							1(1)		1(1)	0	アルメック都市建築工房								1(1)		1(1)	0
昭和設計								1	0	1	Uehara Corporation							1		1	0	
大建設計								1	0	1	いりくら建築アトリエ			1(1)						1(1)	0	
イトーキ								1	0	1	水野文武建築設計事務所			1(1)						1(1)	0	
池下設計							1(1)		1(1)	0	藤本宗弘建築デザイン事務所								1(1)		1(1)	0
安宅設計								1(1)	0	1(1)	小川テック			1							1	0
TIS & Partners				1					0	1	フルハウス								1(1)		1(1)	0
アーキブレイン建築研究所								1	0	1	佐野建築構造事務所			1							1	0
加々美建築構造設計事務所								1	0	1	総計	0	0	4(2)	4(2)	0	0	11(9)	7(1)	18(11)	11(3)	

表 - 4E 就職先の内訳 建材・エンジニアリング

注：(株)は省略 ()内は女子内数

会社名	教室推薦		研究室推薦		縁故推薦		自由応募		計		会社名	教室推薦		研究室推薦		縁故推薦		自由応募		計		
	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院		学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院	
新日軽							1	0	1		文化シャッター ゆとりホーム								1(1)		1(1)	0
日東紡管エンジニアリング							1	0	1		高橋カーテンウォール工業								1		1	0
総計											0	0	0	0	0	0	0	2(1)	2	2(1)	2	

表 - 4F 就職先の内訳 コンピュータ・情報

注：(株)は省略 ()内は女子内数

会社名	教室推薦		研究室推薦		縁故推薦		自由応募		計		会社名	教室推薦		研究室推薦		縁故推薦		自由応募		計		
	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院		学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院	
マイクロソフト							1(1)	0	1(1)		ハイテックシステム	1								1	0	
日本電気システム建設							1	0	1		オン・ザ・エッジ								1		0	1
データ通信システム							1		1	0	アルファ								1		1	0
オープンシステムテクノロジー							1		1	0	コスモス モア								1		1	0
総計											1	0	0	0	0	0	0	4	3(1)	5	3(1)	

表 - 4G 就職先の内訳 製造業・営繕・その他

注：()内は女子内数

会社名	教室推薦		研究室推薦		縁故推薦		自由応募		計		会社名	教室推薦		研究室推薦		縁故推薦		自由応募		計	
	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院		学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院
住友重機械工業		1							0	1	関東天然瓦斯開発								1	1	0
東日本旅客鉄道							1	1	0	0	TSP太陽								1	0	1
日本イー・アール・アイ										2	パリュークリックジャパン								1	1	0
アサシ							1	1	0	0	佐藤産業								1	1	0
ピーブル							1	1	0	0	森戸アソシエイツ								1	1	0
エイムクリエイツ									1	0	安西メディカル						1			1	0
総計											0	1	1	2	1	0	7	3	1	9	4

表 - 4H 就職先の内訳 官公庁・法人

注：()内は女子内数

会社名	教室推薦		研究室推薦		縁故推薦		自由応募		計		会社名	教室推薦		研究室推薦		縁故推薦		自由応募		計		
	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院		学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院	
文部科学省情報政策研究課							1	1	0	0	日本大学理工学部助手				1						0	1
郵政省北陸郵便局								1	0	1	日本大学理工学部副手								1	1	0	
所沢市役所								1	0	1	日本建築センター				1						0	1
川崎市役所								1	0	1	東京都新都市建設公社								1	0	1	
草加市役所							1	1	0	0	小林理学研究所				1					0	1	
神奈川県警							1	1	0	0	創価学会本部								1	1	0	
静岡県田方郡戸田村役場							1	1	0	0	幸福の科学								1	1	0	
総計											0	0	0	3	0	0	7	4	4	7	4	

表 - 4I 就職先の内訳 進学

注：()内は女子内数

	学部	大学院	計
日本大学大学院	5(13)	2(1)	5(14)
東京工業大学大学院	1		1
慶応大学大学院	1		1
東京芸術大学大学院	1		1
長岡造形大学大学院	1		1
防衛庁陸上自衛隊学校	1		1
留学希望	5(3)	1(1)	6(4)
その他	1(2)	1	1(2)
総計	7(18)	4(2)	7(20)

表 - 4J 就職先の内訳 自営業

注：()内は女子内数

	学部	大学院	計
設計事務所・インテリア	1		1
製造業・営繕・その他	1		1
総計	2	0	2

表 - 5 企業内定の応募方法

	学部	大学院	計	比率
教室推薦	26	8	34	15.5
研究室推薦	18	12	30	13.6
縁故推薦	10	0	10	4.5
自由応募	121	25	146	66.4
総計	175	45	220	100.0

注：官公庁，法人，大学院進学，自営業を除く

平成13年度の就職活動に向けて
すでに始まっている就職戦線ですが、相変わらず建設業界は大変厳しい状況にあります。昨年と同様に求人が早まっており、3月中に推薦をした企業もいくつか出ております。人事の担当者は異句同様に“わが社を理解し、積極的に貢献してくれる学生”を希望しており、適性検査の結果を前提としながらも、面接に重点を置いている様子も伺えます。大学のほうに求人がきている場合でも、ネットその他による本人からの応募が主である場合が多くなってきました。大手企業にとられることなく、自分の適性を見極め積極的に行動して情報収集に当たってください。また、昨年は建築以外に情報関係を中心とした

企業からの求人が多く見られました。建設関連でなくともユニークな会社からの求人もありますので、仕事の内容を広い視野の下で見えて選択肢を広げることには必要です。

就職試験対策にも万全を期してください。専門知識はもちろんですが、面接やSPI(適性テスト)も訓練である程度コツがわかります。自分の長所短所をわきまえ、セールスポイントが売り込めるような配慮も必要です。

研究室の先生や、就職を担当する私のほうに相談しながら、この荒波を乗り越えていってください。

(就職担当 教授・関口克明,研究室967B,内線0719)

平成12年度各賞受賞者一覧

優等賞

7134 下村 修一（安達研究室）	7066 押田佳代子（若色研究室）	9093 松井 瞳（短期大学部）
7051 大森 紘子（関口研究室）	7133 下田 典大（斎藤研究室）	9021 小沢 純子（短期大学部）
7100 小島 陽子（片桐研究室）	7107 小林 淳一（小嶋研究室）	9018 大久保博之（短期大学部）
7035 岩井 敬子（関沢研究室）	7223 古林 剛（平山研究室）	

齋藤賞

M-9021 木村 英樹「建設作業における労働環境の個人暴露騒音レベルによる評価と騒音障害リスクに関する研究」	指導：木村 翔教授
M-9038 田嶋 和樹「セメント系材料のひび割れ挙動に関するシステムダイナミクス 水和反応を考慮したメソレベル破壊シミュレータの開発」	指導：白井伸明教授

駿建賞

M-9030 清水 扶「環境活動・情報拠点施設の設計 秩父セメント第2工場跡地利用への提案」	指導：高宮真介教授
M-9035 隅谷 尚子「『旧根岸競馬場』改造計画 ヨコハマ中区芸術工房」	指導：若色峰郎教授
M-9045 富田 隆太「高齢者と成人の歩行特性と歩行感からみた住宅床の床衝撃音に関する研究」	指導：木村 翔教授，井上勝夫教授
M-9058 吉岡 寛之「新宿現代美術館 芸術支援育成活動を核としたアートセンターの設計」	指導：高宮真介教授

駿構賞

M-9009 小川 進也「繰返し荷を受ける土の剛性低下に着目した液状化判定法の提案」	指導：安達俊夫教授
M-9052 埴 祐子「張弦シザース構造の構造特性に関する基礎的研究 システムの提案と構造挙動について」	指導：齋藤公男教授

桜建賞

卒業研究	7150 高橋 愛	7151 高橋 秀和	7181 中村 州宏	7280 若松美帆子「山手線ターミナル駅における高齢者・障害者の移動連続性に関する研究 交通バリアフリー法施行を背景として」	指導：野村 歎教授，八藤後 猛助手
	7229 堀 貴子	7230 堀口 則彦	7235 松井 教純	「段差認識の行動特性と夜間における街路歩行上の安全性に関する研究」	指導：関口克明教授
	7103 小寺 洋行	7134 下村 修一	7195 西村 洋亮	「鳥取県西部地震における液状化特性に関する研究」	指導：安達俊夫教授
	9822 西塚 正	7007 東 義敬	7196 西村 陽介	「亀壁制震装置の基本性能に関する研究」	指導：石丸辰治教授
卒業制作	7051 大森 紘子	「waste landfills」		正指導：吉野泰子（短大）助教授，副指導：野村 歎教授	
	7205 長谷川洋平	「ハイブリッドライブラリー 躯体再利用による新日比谷図書館の設計」		正指導：高宮真介教授，副指導：岡田 章専任講師	
短期大学部 卒業制作	9021 小沢 純子	「On the Horizon」		指導：田所辰之助（短大）専任講師	
	9033 木村 和也	「木の公園 Woody Park Town in Fukushima」		指導：小石川正男（短大）教授	

奨励賞

修士論文	M-9003 安部 剛	「1層1スパン偏心立体骨組の地震応答特性の解析」		指導：半宮敬夫教授
	M-9057 山寺美和子	「芝浦一丁目都民住宅 共働き世帯を主対象とした都心居住の提案」		指導：高宮真介教授
卒業制作	7062 小倉 史崇	「Reusable Deployable Structure」		正指導：齋藤公男教授，副指導：若色峰郎教授

企画奨励賞*1

7186 長岡 篤 7228 星野 誠 7274 吉田 充則「AKIHABARA SKY FRONTIER PROJECT」

指導：根上彰生助教授

駿建コンペティション業績賞*2

M-9035 隅谷 尚子

所属：若色研究室

桜工賞

M-9003 安部 剛	横浜市のボランティア組織に所属して国際交流と姉妹都市交流に尽力	所属：半貴研究室
M-8063 吉田 泰光	建築学科電算システム・LAN管理者として学科の教育・研究環境向上に貢献	所属：石丸研究室
M-9038 田嶋 和樹	建築学科電算システム・LAN管理者として学科の教育・研究環境向上に貢献	所属：白井研究室
M-9044 寺澤 浩一	建築学科電算システム・LAN管理者として学科の教育・研究環境向上に貢献	所属：白井研究室
M-9052 埴 祐子	建築学科電算システム・LAN管理者として学科の教育・研究環境向上に貢献	所属：齋藤研究室
7133 下田 典大	建築展の実行委員長として学生と教員の交流等に成果をあげた	所属：齋藤研究室
7188 中山 和之	横浜コースコスモポリタンに所属し、ボランティア活動に積極的に取り組む	所属：齋藤研究室
7145 関口あかね	卒業記念アルバムを熱心にかつ誠実にまとめた	所属：宇杉研究室
9007 石f 由夏	クラス幹事としてクラスをまとめた功績	短期大学部
9081 林 幸希	クラス幹事としてクラスをまとめた功績	短期大学部

不動産科学専攻研究奨励賞*3

M-9002 猪股 弘樹「運河の特性と空間構成に関する歴史的研究 東京都江東区の運河を事例として」

指導：横内憲久教授

M-9008 平山 洋祐「街並み誘導型地区計画の支援システム構築に関する研究」

指導：橋澤芳雄教授，横内憲久教授

日本環境管理学会・木村賞*4

M-9001 有賀 崇之「千葉県市川市菅野地区における土地利用の変遷と住環境の保全に関する研究

クロマツの保全を中心に」

指導：小嶋勝衛教授，根上彰生助教授，宇於崎勝也専任講師

*1 建築学科企画経営コースのOBで構成される「企画経営コース同窓会」からの基金により，卒業企画設計の優秀作品に贈られる。

*2 近江栄名誉教授より寄贈された基金による。

*3 大学院不動産科学専攻専任教員の基金に，平成8年度で定年（H10.3.1 死去）となられた佐藤進非常勤講師（元・専任教授），平成11年度で定年となった浅香勝輔教授（現・非常勤講師）から寄せられた基金を加え，不動産科学専攻の優秀修士論文に贈られる。

*4 日本環境管理学会元会長木村宏先生（元・専任教授）から不動産科学専攻にその運営を委託された基金により，大学院不動産科学専攻の優秀修士論文に贈られる。

総長賞 学術・文化部門

M-9058 吉岡 寛之 M-9057 山寺美和子「JAPAN EXPO IN FUKUSHIMA 2001 うつくしま未来博 エコファミリーハウス国際設計コンペ」最優秀賞受賞による。所属：高宮研究室

優秀賞 学術・文化部門

6220 中原 英隆 第1回SICF（スパイラル・インディペンデント・クリエイターズ・フェスティバル）グランプリ受賞による。所属：今村研究室

奨励賞 学術・文化部門

M-0003 飯山 千里 M-0024 黒川 千聡 M-0035 立川 博之「JAPAN EXPO IN FUKUSHIMA 2001 うつくしま未来博 エコファミリーハウス国際設計コンペ」最優秀賞受賞による。所属：高宮研究室

学部長賞 体育部門

7269 横山 直樹 千葉県スキー選手権大会で平成11年度第3位，同12年度優勝，そして千葉県代表として2年連続して国体に出場したほか，多くの大会で活躍，優秀な成績を残した。所属：三橋研究室

修了生・卒業生 就職先・研究課題一覧

平成12年度

大学院博士後期(博士)課程

学生番号	氏名	就職先	論文題目
片桐正夫教授			
D-5003	崔 炳夏		クメール王朝アンコール期の宗教建築における建築構法の発展に関する研究 ・建築学専攻・
小嶋勝衛教授・根上彰生助教授			
D-8001	劉 銑鍾	韓国建国大学校 非常勤講師	日本におけるリバース・モーゲージ制度の利用促進に関する研究 ・不動産科学専攻・

大学院博士前期(修士)課程

学生番号	氏名	就職先	論文題目
安達俊夫教授			
M-9009	小川 進也	加々美建築構造設計事務所	繰返し載荷を受ける土の剛性低下に着目した液化化判定法の提案 ・建築学専攻・
M-9024	小林東世雄	(株)オン・ザ・エッジ	締固め砂杭により改良した砂質地盤の荷重 沈下特性に関する研究
M-9050	野口 信	住友重機械工業(株)	二方向入力を受けた飽和砂地盤の地震応答特性に関する実験的研究
石丸辰治教授			
M-8063	吉田 泰光	日本電気システム建設(株)	地盤免震システムに関する基礎的研究 ・建築学専攻・
M-9059	吉田 明義	(株)魚津社寺工務店	制震改修された社寺建築の動特性に関する基礎的研究
片桐正夫教授			
M-9010	香川 正子	古河林業(株)	クメール王国アンコール期における宗教建築の発展に関する研究 ・建築学専攻・
M-9012	片町 健	(株)日本綜合地所	中央祠堂の平面形状の変化及び平面規模と開口部の相関性の分析より アンコール期における塔状建造物の架構形式とその展開について 屋蓋迫り出し手法、建物隅部構造、出入口上部構造の分析を中心として
M-9019	菊田 英里		近代日本における「倶楽部建築」の変遷に関する史的研究
M-9023	小林謙太郎	(株)けんちく工房・邑	近代日本の建築技術書にみる木造技術の変遷過程に関する研究
M-9025	斎藤 健		昭和戦前期における「モダニズム住宅」の理念と手法に関する研究
M-9036	高橋 大	日本国土開発(株)	昭和初期から戦災復興期における「庶民住宅」の供給と改善に関する史的考察 日本電建株式会社を中心として
木村 翔教授・井上勝夫教授			
M-9001	明智 都	日本ERI(株)	利用者側とオーナー側からみた商業空間の音環境意識と実態把握に関する研究 ・建築学専攻・
M-9006	井戸 覚道	ボーズ(株)	電気音響を用いた拡声時における伝送周波数特性が音声伝達性能に与える影響に関する研究
M-9021	木村 英樹	日本ERI(株)	建設作業における労働環境の個人暴露騒音レベルによる評価と騒音障害リスクに関する研究
M-9045	富田 隆太	日本大学理工学部	高齢者と成人の歩行特性と歩行感からみた住宅床の床衝撃音に関する研究
M-9046	永澤 純子	マイクロソフト(株)	コンサートホールの年代による発展と音響指標・主観評価から見た室形状の特徴に関する研究
M-9048	中森 俊介	(財)小林理学研究所	乾式二重床の床衝撃音発生系の検討と遮断性能の改善方法に関する研究
M-9054	星 和磨	(株)アセント	聴覚の非線形性を考慮した反射音の時間構造の変化が音に包まれた感じに及ぼす影響に関する研究

小嶋勝衛教授・根上彰生助教授・宇於^f 勝也講師

・建築学専攻・

- M-9037 武 弘樹 総合設計制度の公開空地による市街地環境の整備手法に関する研究
 M-9053 古屋 岳司 ゴールドクレスト 中高層階住居専用地区の住宅確保の実効に関する研究
 M-9060 米澤 正貴 ㈱ハザマ 自治体等が発信する「地域情報」に関する研究
 来街者に対する空間情報の提供を中心として

斎藤公男教授

・建築学専攻・

- M-9007 浦 映二 ㈱TIS & partners 張力膜構造の応力弛緩に関する実験的研究
 ばねストラット式張力膜構造を対象として
 M-9008 岡田 秀治 大成建設㈱ Tensegric Truss Arch (Type) の構造特性に関する研究
 実大規模実験および2方向ドームへの展開
 M-9033 鈴木 俊勝 TSP太陽㈱ 間伐材の軸力構造への適用性に関する研究
 テンセグリック式立方八面体の基本的構造特性と施工方法について
 M-9042 知久 大輔 ㈱大建設 PCa-PC 部材を用いた斜張式張弦梁構造の基本的力学特性に関する研究
 構造計画および逆工程解析について
 M-9052 埴 祐子 太陽工業㈱ 張弦シザース構造の構造特性に関する基礎的研究
 システムの提案と構造挙動について

清水五郎教授

・建築学専攻・

- M-9016 河辺 京 ㈱大黒屋 コンクリートの吸水性状に基づく品質評価に関する実験的研究

白井伸明教授

・建築学専攻・

- M-9038 田嶋 和樹 日本大学大学院 (博士後期課程) セメント系材料のひび割れ挙動に関するシステムダイナミクス
 水和反応を考慮したメソレベル破壊シミュレータの開発
 M-9044 寺澤 浩一 大京管理㈱ 繰返し荷重がRC柱の靱性能に及ぼす影響に関する解析的研究

関口克明教授

・建築学専攻・

- M-9013 加藤 未佳 日本大学大学院 (博士後期課程) ヤオトン住居の光環境改善に関する研究
 M-9018 菅野 哲充 トステム㈱ 中国内モンゴにおける住環境の実態と温熱環境改善に関する研究
 M-9026 佐竹 康 日東紡音響エンジニアリング㈱ 楽音特性を考慮したホール音場の評価方法に関する研究
 M-9032 下平 裕之 夜間における街路の空間認知と光環境のあり方に関する研究
 M-9043 辻 俊光 ㈱長谷工コーポレーション 公共交通施設における視覚障害者の誘導設備と空間認知に関する研究
 M-9055 三浦 康雄 大東建託㈱ 森林空間における音響特性の解明と演奏空間への応用に関する研究

関沢勝一教授

・建築学専攻・

- M-9020 北村 康雄 東京都心部における公園と一体化された小学校低学年の学習環境に関する事例研究
 M-9027 佐藤 祐道 ㈱NTTファシリティーズ 東京都における小学校の総合的な学習の視点から見た学習空間に関する事例研究
 M-9039 楯石 和之 世田谷区における児童館の機能と空間構成の変遷に関する研究
 M-9051 長谷川秀一 アーキブレン 建築研究所 中学校建築における教室空間の評価に関する研究
 教科教室制と特別教室制による比較評価から

関沢勝一教授・宇杉和夫講師

・建築学専攻・

- M-9031 紫牟田一魂 囲み型集合住宅の住戸と中庭の関係について
 幕張ペイタウン・パティオスを中心とした考察

高宮真介教授

・建築学専攻・

- M-9017 川元美奈子 多摩ニュータウン近隣センターの再生 諏訪・永山地区の事例を通して
 M-9030 清水 扶 ㈱大林組 環境活動・情報拠点施設の設計
 秩父セメント第2工場跡地利用への提案
 M-9057 山寺美和子 伊藤喜三郎建築研究所 芝浦一丁目都民住宅 共働き世帯を主対象とした都心居住の提案
 M-9058 吉岡 寛之 みかんぐみ 新宿現代美術館 芸術支援育成活動を核としたアートセンターの設計

野村 歆教授

・建築学専攻・

- M-9022 國井 清照 新日軽㈱ 立ち上がり動作を補助するトイレ用手すりの研究
 「長寿社会対応住宅設計指針」における縦手すりの有効性

半貴敏夫教授

・建築学専攻・

- M-9003 安部 剛 ㈱銭高組 1層1スパン偏心立体骨組の地震応答特性の解析
 M-9047 中村 憲正 ㈱東京都新都市建設公社 中低層鋼構造骨組の損傷分布に関する数値解析的研究

平山善吉教授

・建築学専攻・

- M-9028 佐藤 雅也 ミサワホーム㈱ 木質軸組パネル構法の耐力壁に関する実験的研究

本杉省三教授

・建築学専攻・

- M-9005 安 星美 留学 主舞台と同等の広さを持つリハーサル室における稽古用舞台の構成に関する研究 新国立劇場オペラ劇場における実態調査研究を通して
 M-9015 川戸 孝容 ㈱イトーキ 地域型小規模公共ホールにおける付帯備品の利用と収納および施設管理に関する研究
 M-9056 茂垣 竜彦 郵政省北陸郵便局 演劇興行の近代化における帝国劇場の意義

吉田あきら教授

・建築学専攻・

- M-9002 浅見 幸子 ㈱竹中工務店 中国窑洞の温熱環境特性とその住技術の持続的発展性について
 M-9014 金森 基 ㈱大気社 化学物質による室内空気汚染と居住環境に関する実態調査

若色峰郎教授

・建築学専攻・

- M-9011 梶 隆之 ㈱昭和設計 地域に開く葬送空間の計画と設計
 浦安市葬祭場を通しての葬送意識の再考
 M-9029 佐橋 麻基 ㈱安宅設計 地域開放型施設を併設した集合住宅の計画と設計
 都営辰巳一丁目団地の再生
 M-9034 鈴木 寿枝 ㈱安井建築設計事務所 井の頭自然学習館の計画と設計
 公園内における活動拠点としての学習空間の提案
 M-9035 隅谷 尚子 ㈱桂設計 「旧根岸競馬場」改造計画 ヨコハマ中区芸術工房
 M-9040 玉木 政裕 川崎市役所 地域公共体育館に設置された健康体力相談室について
 M-9041 田丸 淳一 ㈱長谷工コーポレーション 学校に併設した公共屋内プールに関する研究
 東京都における実態調査を通して
 M-9049 中山 農 アーキスタジオ川口 中央区築地社会教育会館の計画と設計
 交流拠点となる生涯学習施設を目指して

小嶋勝衛教授・根上彰生助教授・宇於f 勝也講師

・不動産科学専攻・

- M-9001 有賀 崇之 都市基盤整備公団 千葉県市川市菅野地区における土地利用の変遷と住環境の保全に関する研究 クロマツの保全を中心に
 M-9005 田中 可久 新光証券㈱ PFIの実効性と評価に関する研究
 費用削減効果とリスクマネジメントに注目して

M-9006	中田三保子	国土交通省関東地方整備局	都心の子育て環境を活用した居住促進方策に関する研究
M-9007	林 雄一郎	岩崎産業(株)	小規模自治体から見た市町村合併に関する研究 合併協議の過程の分析
M-9010	牧野 純司	小田急不動産(株)	地方自治体の「夜間景観の整備計画」に関する研究
M-9011	町井 義治	野村土地建物(株)	中心市街地活性化に対するタウンマネジメント組織の活用に関する研究
M-9012	柏淵 博子	(株)住通(社会人大学院)	物件情報公開の進展が不動産売買仲介業に与える影響に関する研究

三橋博巳教授

M-9013	平山百合子	リーエス・ネットワーク(株)(社会人大学院)	中古共同住宅の鑑定評価に関する研究	・不動産科学専攻・
--------	-------	------------------------	-------------------	-----------

横内憲久教授

M-9002	猪股 弘樹	衆議院議員西川公也秘書	運河の特性と空間構成に関する歴史的研究 東京都江東区の運河を事例として	・不動産科学専攻・
--------	-------	-------------	--	-----------

横内憲久教授・榛澤芳雄兼任教授

M-9008	平山 洋祐	(株)ぎょうせい	街並み誘導型地区計画の支援システム構築に関する研究	・不動産科学専攻・
--------	-------	----------	---------------------------	-----------

学部

氏名の右肩*印は企画経営コース，無印は建築学コースを表す。

学生番号	氏名	就職先	論文題目
安達俊夫教授・山田雅一助手			
7053	岡田 憲治	前田建設工業(株)	杭と地盤の動的相互作用に関する文献調査 せん断土槽による現状調査
7178	中主 淳子	旭化成シティガイ(株)	
7130	小寺 洋行	旭化成ホームズ(株)	鳥取県西部地震における液状化特性に関する研究
7134	下村 修一	日本大学大学院	
7195	西村 洋亮	大東建託(株)	中空ねじりせん断試験によるセメント系改良砂の力学特性に関する実験的研究
7112	坂本 照先	大東建託(株)	
7146	関根 大輔	小田急建設(株)	
7198	二橋 寛典	多摩中央ミサワホーム(株)	締固め砂杭による改良地盤の荷重沈下曲線に関する実験的研究
7116	佐藤 浩介	日本大学大学院	
7158	竹内 隼	関東天然瓦斯開発(株)	水平二方向入力による表層地盤の液状化挙動
7166	田生 裕典	トステム(株)	
7149	高野 暁史	(株)第一ビルディング	首都圏大深度地盤の物性評価に関する文献調査
7174	土井 伸機	林建設(株)	
4072	越智 亮太	(株)佐野建築構造事務所	
石丸辰治教授・新谷隆弘講師			
7007	東 義敬	日本大学大学院	亀壁制震装置の基本性能に関する研究
7196	西村 陽介	日本大学大学院	
9822	西塚 正	日本大学大学院	

7027 伊藤 智 千葉バナホーム(株)
 7064 苧坂 真人 (株)アサンテ
 7077 蕪木 杏子 日本大学大学院
 7094 草薙 亮太 鹿島建設(株)
 7157 武石 備 (株)TOKAI
 7175 中川 智也 ハイテクシステム(株)
 7189 長沼 潤一 (株)中央住宅
 4245 幡鎌 裕之

地盤免震装置の力学特性に関する実験的研究

片桐正夫教授・大川三雄講師・重枝 豊助手

7100 小島 陽子 日本大学大学院
 7114 佐々木 俊 科目履修生(教職)
 7234 班目 千香 日本総合住生活(株)
 7282 渡辺 奈美 森戸アソシエイツ
 9803 大竹 久貴
 6161 白田 貴幸

クメール遺構における組積技術の変遷
 に関する一考察 階段入隅部における構築手法の分析を中心として
 日本大学理工学部1号館に関する史的
 研究 計画・意匠・構造に関する考察
 日本大学理工学部1号館に関する史的
 研究 建設経緯とその概要
 中部ベトナムの村の集会場「ディン」の
 建築構成に関する基礎的研究
 広瀬謙二のSHシリーズに関する研究
 50年代小住宅の思想と精神
 駿河台地区の都市的変遷と建築に
 関する史的



木村 翔教授・井上勝夫教授・橋本 修講師

7138 須賀院崇徳 スターツ(株)
 7144 関 憲二 (株)千葉ミサワホーム
 7190 名古屋 亨 旭化成ホームズ(株)
 7002 青木 貴志 住友林業(株)
 7276 吉房 崇志 (株)巧建社
 7284 渡辺 亮史 清水建設(株)
 7071 蔭山 裕司 大和ハウス工業(株)
 7085 菊地 大輔 野村ホーム(株)
 7014 新井みどり 小田急不動産(株)
 7081 川又 周太 日本大学大学院
 7239 間宮 寿夫 エスバイエル(株)
 7074 片山真由美 興和不動産(株)
 9809 桑島 紀子 (有)水野文武建築設計事務所
 7022 石田 剛彦 日本大学大学院
 7164 田中布美子 (株)ナカノコーポレーション
 7258 矢野 雅成 近藤建設(株)
 7020 石川 貴正 クボタハウス(株)
 7043 大岡 純子 東急建設(株)
 7037 浮貝 忍 飛鳥建設(株)
 7089 北村 碧 (有)いりくら建築アトリエ
 7036 上原英一郎 エスバイエル(株)
 7067 小田 啓介 (株)エイムクリエイツ
 7171 徳岡るり子 クリナップ(株)
 7187 長島 諭 (株)東急アメニックス
 7264 山田 健介 鉄建建設(株)

建築物の電波遮断性能の測定法と構内伝搬特性に関する基礎的研究
 乾式二重床の床衝撃音遮断対策と特殊工法大型スラブの振動特性に関する研究
 木造床の床衝撃音対策と試験方法に関する研究
 高齢者と成人の歩行感と床衝撃音からみた床仕上げ材の検討に関する研究
 オープンプランの小学校を対象とした音環境の実態と対策手法に関する研究
 建設作業場における個人騒音暴露量の実態把握と対策に関する研究
 電気音響を用いた空間における伝送周波数特性の違いによる聞き取りやすさと不自然さへの影響に関する研究
 電気音響による拡声時におけるノイズが音声情報伝達に与える影響に関する研究
 反射音の到来方向、受聴レベルと時間構造の変化が音に包まれた感じに及ぼす影響に関する研究
 利用者側とオーナー側の商業空間の音環境に対する意識と現状の音環境の把握に関する研究



小嶋勝衛教授・根上彰生助教授・宇於f 勝也講師



7005	赤木 香菜子		}	イベントによる中心市街地活性化の可能性に関する研究 千葉県柏市のストリートブレイクを通して
7048	大野 英人	日本総合住生活(株)		
7075	勝 充史*		}	伝統的建造物群保存地区における条例・事業の併用のあり方に関する研究
7017	飯塚 裕紀*			
7023	石山加奈子*	トステム(株)	}	工場共同利用事業における工場間ネットワーク形成による地域活性化に関する研究
7046	太田 地彦			
7107	小林 淳一*	(株)大林組	}	市民参加による街路樹整備の取り組みに関する研究 広島市佐伯区コイン通りをケーススタディとして
7065	小澤 友和*	大東建託(株)		
7159	竹内 久顕*	(株)幸福の科学	}	街路景観の「共通・違い」要素がまちのイメージ形成に与える影響に関する研究
7177	中島 将生*	(株)大京		
7204	長谷川 誠*	近藤建設(株)	}	都心における集合住宅の利用実態に関する研究 東京都千代田区を対象として
7068	越智 誠*	(株)一条工務店		
7109	斎藤 彰男*	長岡造形大学大学院	}	コーポラティブハウスに関する基礎的調査
7228	星野 誠*	日本大学大学院		
7082	河村真由香*		}	パートナーシップによる環境と共生するまちづくりに関する研究
7083	菅野 准子*			
7140	杉崎 裕二	(株)一条工務店	}	東京都千代田区を対象として
7106	小林 秀一	スウェーデンハウス(株)		
7118	佐藤 孝則*	佐藤産業(株)	}	コーポラティブハウスに関する基礎的調査
7186	長岡 篤*	日本大学大学院		
7274	吉田 充則*	日本大学大学院	}	パートナーシップによる環境と共生するまちづくりに関する研究
7176	中島 啓文*	(株)アイフルホーム テクノロジー		
7182	中村 圭恵*	草加市役所	}	パートナーシップによる環境と共生するまちづくりに関する研究
7259	山崎 順一*	(株)一条工務店		
6295	矢島 直道*			

斎藤公男教授・黒木二三夫(短大)助教授・岡田 章講師



7015	安藤 伸敏	日本大学大学院	}	Tensegric Structure に関する基礎的研究 Type アーチモデル実大実験および今後の展開
7024	市原 健吉	積水ハウス(株)		
7141	鈴木 俊介	鈴木建築設計事務所	}	ばねストラット式張力膜構造の構造特性に関する実験的報告 システムの提案と構造性能の把握
9828	藤井 裕充	安藤建設(株)		
7026	伊東 梢		}	ストラット式放射構造の基礎的研究 高ライズ架構に適應するシステムの提案
7111	齋藤美由樹	(株)大京		
7220	福島 孝志	uehara corporation	}	ばねストラット式張力膜構造の構造特性に関する実験的報告 十字膜モデルによる基本的材料特性の把握
7240	丸田 貴弘	(株)小川テック		
9831	宮田 真紀	日本大学大学院	}	2002年日韓ワールドカップスタジアムの調査, 分類, 研究
7248	宮田 義之	日本大学大学院		
7256	安本 真弥	(株)長谷工コーポレーション	}	String Scissors Structure (SSS) の基礎的研究 システムの提案および実験報告
7062	小倉 史崇	日本大学大学院		
7091	木村 純	日本大学大学院	}	クーロンから自由曲面へ リングジョイントの発展と応用 フラーの思想と提案をめぐって 建築の空間と構造システムの展望 Cu-ron施工実験の考察およびそれに伴うジョイントについて
7095	國田 博史	(株)穴吹工務店		
9812	白石 拓郎	(株)フジタ	}	クーロンから自由曲面へ リングジョイントの発展と応用 フラーの思想と提案をめぐって 建築の空間と構造システムの展望 Cu-ron施工実験の考察およびそれに伴うジョイントについて
7102	小寺浩一郎	(株)長谷工コーポレーション		
7133	下田 典大	日本大学大学院		
7135	白鳥 雄一	横河工事(株)		

7184 中山 和之 日本大学大学院 間伐材を利用したラチスウォールパネル構造に関する基礎的研究
エコファミリーハウスの構造設計



清水五郎教授

7009	安部 悠介	新日本建設(株)	}	日大理工1号館の解体に伴う実態調査
7036	内山慎一郎	大東建託(株)		
7049	大野慎之介	名工建設(株)	}	建築における新素材・新工法の現状に関する文献調査
7129	島田 健司	ダイア建設(株)		
7193	西澤 興治	海外留学	}	構造物の外観に見られる落書きの実態とその対策に関する基礎的研究
6009	安達 功	太建工業(株)		
6033	石黒 肇	東急建設(株)	}	アンコール遺跡砂岩の物性に関する実験的研究

白井伸明教授・森泉和人助手

9813	鈴木 大輔	安西メディカル	}	既存RC造建築物のコンクリート強度に関する研究
7127	篠田 智信	(株)コスモモア		
7244	三島 隆路	日本大学大学院	}	非線形FEMによるRCディープビームのせん断解析
7031	井上 恒	オープンシステムテクノロジ(株)		
7110	斎藤 敬志	高橋カーテンウォール工業(株)	}	マクロ要素モデルによるRC柱の繰返し挙動解析
6053	岩瀬 道明	日本国土開発(株)		
7120	佐藤 智昭	アルファ総合研究所(株)	}	RC梁モデルによるAE源位置標定に関する研究
7128	島崎 善央	日本大学研究生		
7238	松崎 雅宏	大成プレハブ(株)	}	セメントの水和反応を考慮したコンクリートの強度発現予測

関口克明教授・吉野泰子(短大)助教授・羽入敏樹(短大)講師

7051	大森 紘子	日本大学大学院	}	低層住居密集地における風の流れに関する研究
7034	今西 正人	ゴールドクレスト		
7125	下谷 恭子	トステム(株)	}	地下鉄駅構内の移動に関する設備と情報のバリアフリー対策
7211	姫野 会里	日本大学大学院		
9805	金子 郁江	(株)一条工務店	}	光ダクトを用いたヤオトンの光環境改善に関する研究
9826	廣瀬絵美子	(株)ビーブル		
9829	藤井 由香	大和ハウス(株)	}	中国内蒙古における沙漠地域住居の断熱材の開発に関する研究
9816	田中 信宇	旭化成ホームズ(株)		
7123	佐藤 陽子	(株)アサヒファシリティーマネージメント	}	反射音の空間構造と楽音特性が音場の空間印象に及ぼす影響
7219	福井 涉	(株)データ通信システム		
7063	小栗 裕樹	(株)竹中工務店	}	森林空間の音響特性に関する基礎的検討
7090	君塚 良太	大和ハウス(株)		
7160	竹内 寛	積水ハウス(株)	}	街路空間の光環境のあり方に関する研究 ボイドの特性
9820	水流恵美子	鹿島建物総合管理(株)		
7105	小林 憲治	日本大学大学院	}	街路空間の光環境のあり方に関する研究
7142	鈴木 貴子	(株)橋設計		
7191	梨本 絵美	住友林業(株)	}	開口部による街路空間の評価
7249	宮部 文美	三井ホーム(株)		
7229	堀 貴子	}	段差認識の行動特性と夜間における街路歩行上の安全性に関する研究	
7230	堀口 則彦			積水ハウス(株)
7235	松井 教純	積水ハウス(株)		

関沢勝一教授・佐藤直樹助手



- | | | | |
|------|-------|--------------------|--|
| 6157 | 勝治 真吾 | 日本大学大学院 | 小規模小学校における学習集団形成時の
集団規模についての研究 |
| 7035 | 岩井 敬子 | 日本大学大学院 | 生涯学習空間の基礎的研究 文献研究を通して
} 小学校を利用した放課後の子どもの遊び場“新BOP”から考える子ども
} の遊び場 |
| 7073 | 片山さやか | 文化シャッターゆとり | |
| 7279 | 若松 奈央 | ファイナルホームテクノ
ロジー | |
| 7079 | 河合由里子 | 創価学会本部 | |
| 7115 | 佐藤 和孝 | 日本大学大学院 | 小学校における児童・教員の心理分析による教室空間に対する評価
小学校の教室空間の色彩に関する研究
世田谷区立三宿小学校の児童に対する意識調査を通じて |
| 7131 | 清水 智美 | アルメック都市建築工房 | デペンデントハウス建設とその影響について |
| 7197 | 二宮 一平 | | 松村正恒の建築 木造建築を検証する |
| 7200 | 根津 康之 | ミサワホーム(株) | 横浜市戸塚区東戸塚駅周辺における子どもの遊び場と環境の実例調査 |
| 7225 | 星野 諭 | 日本大学大学院 | 子どもによる環境づくり 建築・まちづくり学習を通して |
| 7233 | 増田 充朗 | 積水ハウス(株) | 子どもと高齢者の共有スペース |
| 8601 | 木元 茜 | フルハウス | 社会の一部としての公園の研究 |
| 8701 | 加藤久美子 | 巧建社 | 色彩環境が視覚からもたらす影響の心理的側面からの分析 |

高宮真介教授・佐藤慎也助手



- | | | | |
|------|-------|-----------|--|
| 7016 | 飯田 真弘 | 日本大学大学院 | 地下施設のデザイン手法に関する研究
商業空間を含むケースを通して考える |
| 7041 | 梅田 綾 | 日本大学大学院 | 月島地区における街区の生成と変遷 |
| 7047 | 大西 正紀 | 日本大学大学院 | 同潤会青山アパート建替えの変遷 |
| 7093 | 日下部寛之 | 日本大学大学院 | 鎌倉 若宮大路の景観に対する意識分析
古都中心市街地の空間に関する研究 |
| 7132 | 志村 卓馬 | | 建築計画学における生活行為と建築空間の対応関係
公営住宅51C型の成立過程を通して |
| 7137 | 末岡佐江子 | 日本大学大学院 | 韓国における住宅形態の変容と現況 |
| 7154 | 滝川 佑介 | 日本大学大学院 | 開発地における環境共生計画に関する研究
関西国際空港の事例から学ぶ自然環境再生計画の可能性 |
| 7172 | 戸内広太郎 | 日本大学大学院 | 日本における近代建築の保存・再生の価値基準と手法についての研究 |
| 7205 | 長谷川洋平 | 東京工業大学大学院 | 再生建築における設計手法に関する研究
日本の事例をとおしてみる再生建築の現状と可能性 |
| 7217 | 平山 香 | 日本大学大学院 | 幼稚園・保育所の室配置計画の研究 |
| 7262 | 山下 祐平 | 日本大学大学院 | 二条城二の丸における遠州について |



野村 歓教授・八藤後 猛助手

- | | | | |
|------|-------|------------|---|
| 4295 | 松元 尚 | | } 特別養護老人ホームの避難誘導における
} 色彩・光に関する基礎的研究 |
| 9802 | 潤間 章一 | ひらい建設工業 | |
| 7088 | 北野 知裕 | 日本大学大学院 | } 文化財庭園におけるバリアフリーについて |
| 7153 | 高橋 祐介 | 日本大学大学院 | |
| 7155 | 滝沢 洋子 | 池下設計 | |
| 7218 | 深澤 久美 | ミサワホーム販売建設 | |
| 9804 | 小笠原 愛 | レオパレス21 | |

7150	高橋 愛	東日本旅客鉄道㈱	}	ターミナル駅における連続性に関する研究
7151	高橋 秀和	トステム㈱		
7181	中村 州宏	積水ハウス㈱		
7280	若松美帆子	㈱東急アメニックス		
7179	中野麻里子	日本大学理工学部(副手)	}	小規模商業施設の今後のあり方 コンビニエンスストア, ファーストフード, ファミリーレストランのバリアフリー調査を通して
7251	宮本 淳子	土屋ホーム		
7275	吉原千恵子	中島建設		
9819	土屋 洋子	㈱丹青社		

半貴敏夫教授



7045	大久保紀彦	日本大学大学院	梁端接合部剛性を部分的に変えた場合の多層鋼ラーメンの歪速度応答	
7117	佐藤 俊介	㈱パリュークリック・ジャパン	層間密度変化を考慮した屋根上積雪の滑落シミュレーション	
7121	佐藤 雅代	㈱ゴールドクレスト	}	鋼構造骨組の耐力・変形性能に関する偏心の影響
7261	山下 聡子	文部科学省高エネルギー加速器研究機構		
7122	佐藤 康典	日本大学大学院	勾配屋根に積もった雪の荷重効果に関する数値解析	
7185	中山憲太郎	富士ハウス㈱	偏心立体骨組の弾塑性地震応答解析	
6101	神谷 英嗣	大和ハウス工業㈱	定着板形式の基礎梁主筋定着に関する実験的検討	
6128	児玉 剛	住友建設㈱	プレキャスト鉄筋コンクリート造中空構造材の内側ネジ山の形状決定に関する実験	
6169	鈴木康一郎	㈱加賀田組	プレキャスト鉄筋コンクリート造中空構造材の曲げ強度実験	
6282	宮内 治人	菱和設備㈱	固有周期をパラメータにしたフェルセーフ構造システムの耐震性能	

平山善吉教授・斉藤俊一助手



3286	山根 大成	安田建設㈱	}	木質住宅のメンテナンスに関する研究
7221	福田 雅文	共立建設㈱		
7281	若谷 貴	大成プレハブ㈱		
7283	杉浦 洋輔	㈱一条工務店		
7011	荒井 国広	㈱浅沼組	}	アンコール遺跡の神秘
7061	奥津 義啓	大東建託㈱		
7147	関谷 晃	西松建設㈱		
7162	田島 伸一			
7224	宝地戸達矢	トステム㈱	}	木質軸組パネル構法に関する実験的研究
7124	三宮 里香	スターツ㈱		
7148	瀬沼 亜里			
7188	永田 淳子	㈱ナカノコーポレーション		
7223	古林 剛	日本大学大学院	}	防災・啓発活動支援のための耐震診断
7167	珍田 篤仁	エス・バイ・エル㈱		
7243	御子柴大樹	大成建設㈱		

三橋博巳教授

7152	高橋扶美子*	(株)タカラレーベン
7203	長谷川育生*	日本大学大学院
7208	半田 純*	(株)松尾工務店
7210	日野 薫*	神奈川県警察
7237	松浦 恭彦*	丸紅不動産販売(株)
6191	立入 誠悟	(有)たちいり
7018	飯浜 弘紹	積水ハウス(株)
6263	藤本 龍二	(株)熊谷組
7180	中原佑一郎	戸田建設(株)
7269	横山 直樹	北野建設(株)

建築物の劣化に関する研究

高強度鉄筋コンクリート造有孔梁に関する研究

戦後史の中の民営火葬場 鎌倉・誠行社の歴史と問題点

建築物の人工雪を用いた風洞実験に関する研究 相似条件について



本杉省三教授・佐藤慎也助手

7003	青戸 良江	
7060	荻野 朗子	
7097	倉部 史記	慶応大学大学院
7098	栗田 壱史	前田建設工業(株)
7099	鯉淵 雄一	
7201	根本 祐一	
7212	平井 直樹	日本大学大学院
7250	宮本 亞祐	
7253	向井 有己	
7277	吉村 美穂	
6216	中込 和之	

遺伝的アルゴリズムを用いた配置問題の最適化

James Turrell 自己と宇宙を結ぶ光の空間 そこから学ぶこと

web上アンケートを用いた全国の劇団による劇場選択理由に関する実態調査

1990 - 2000年における文化施設の屋根デザインにおける傾向と特徴

映画「Metropolis」「Bladerunner」から探る私達の未来展望

イーゲーチェアのリラックス性要素に関する研究

現代集合住宅の構成 集合住宅における住戸の多様性と構成の関係

写真という記号化された建築について

表現主義における素材の表現について

素材によるクリスタルイメージ表現を通しての考察

現代美術展に適した空間について 展示室をボリュームから検討する

保存・再生 登録文化財の機能転用



吉田あきら教授・蜂巢浩生助手

6160	白瀬 和海	(株)大西塾学
7006	浅井 実	クリナップ(株)
7040	内海 誠也	(株)フジタ
7072	河西亜希子	(株)ソーセツ
7119	佐藤 俊之	エルゴテック(株)
7254	村山 純子	クリナップ(株)
7268	結城恵利子	(株)開成コーポレーション

聴覚障害者に配慮した音楽堂

住宅における室内揮発性有機化合物の実態調査

室内化学物質空気汚染モニタリングシステムとデータベースの構築に関する研究

公園のトイレの提案 維持管理・清掃面の改善

マウスの成長に影響を及ぼさない飼育温度制御に関する研究

図書館の照明設備に関する研究



若色峰郎教授・渡辺富雄助手

7004	青柳 麗子	
7021	石澤 靖記	
7025	伊藤 一康	日本大学大学院
7066	押田佳代子	日本大学大学院
7130	島田 美希	

集合住宅と川の親水性に関する研究

中央区・江東区の親水公園周辺を事例として

機能転用による建築物の再生に関する研究

展示空間に転用された事例を通して

美術館の展示空間における光についての研究

展示空間の演出手法と採光・照明との関係について

地下鉄の駅空間におけるデザインと場所性に関する研究

都営地下鉄大江戸線環状部の駅舎について

ルイスバラガンの静止空間；パティオ・屋上庭園・プールに関する考察

プラン構成からみる主要6作品の分析



7231	前島直央子	㈱トステム	都市環境におけるサインの研究 現状とその在り方
7242	三上 哲也		戦後の日本の独立住宅の試み
7246	宮崎 豊	㈱ヤマウラ	傾斜地に建つ集合住宅の研究 地形による集合住宅の形態論的考察
7272	吉田 隆人		京の町家における「庭」の研究 町家建築システムの継承
9801	井上 知樹		これからの社会に対応した墓地・納骨堂の研究と提案
9807	木崎 裕一	日本大学大学院	集合住宅の洋風居間の家具とライフスタイルとの関係
9824	橋本 慎一		Mies van der Rohe プロポーションに潜むディテールについての考察
9827	福石 真也		アプローチ空間のシークエンスと演出

今村雅樹助教授

6220	中原 英隆		設計方法論の為のサンプリング手法
7019	石井 香織	三井デザインテック	都市居住について
7042	海老原 綾	藤本宗弘建築デザイン事務所	郊外住宅地におけるふれあいのかたちの提案
7069	落合美令奈	日本大学大学院	コミュニケーションハウジング
7163	多田 吉宏	日本大学大学院	神田多町空地問題に対する建築計画プログラミング
7216	平田 真貴	日本大学大学院	保育所のシステムと空間のあり方について
7257	柳瀬 睦子	渡米	21世紀の駅の風景
9814	角田 遊	日本大学大学院	都市型集合住宅
9823	箱田 伸吾		都市型葬祭場の空間構成について



岡村武士助教授

7245	美寿見知栄	グラフィック アンド デザイニング 日本大学大学院	自然素材の構造材としての適用性評価・利用技術開発に関する基礎的研究 環境を考慮した新材料の創製と加工技術
7271	吉崎友里子		
5127	権 洙境		



石田道孝講師

7013	荒井 久弥*		東京都における小中学校の余裕教室転用における高齢者福祉施設に関する研究
7050	大橋 直彦	大東建託㈱	地域における医療施設計画に関する研究 医療・保健・福祉施設の連携ネットワークについて
7052	岡島憲太郎	㈱松井建設	都心部における共同建て替え事業と高齢者・障害者配慮に関する研究 東京都23区におけるヒアリング調査分析
7087	北井 達也*	㈱アストベ	地域ケアシステムにおける中核施設に関する研究 浜松市の地域ケアシステムの提案
7285	和田 郷*	日神不動産㈱	基幹型在宅介護支援センターの機能・実態に関する研究
7266	山本 真也	㈱阿部建設	自治体における高齢者・障害者の在宅ケア推進に関する研究 介護保険制度下の住宅改修支援施策について
7038	宇田川重志	日本大学大学院	特別養護老人ホームの施設内空間利用に関する研究 グループユニット化に向けた基礎的分析
9808	木村 愛	旭化成ホームズ㈱	コミュニティ関連施設の複合化の視点 日経アーキテクチャー掲載施設を中心に
9825	比留間美紀	大和ハウス工業㈱	練馬区児童館の利用状況から見た空間利用に関する研究



宇杉和夫講師

7012	新井豪二郎	日本大学大学院	新しい住まいの空間構成手法に関する研究 個室とコモンスペースの相互関係について・評価と提案
7170	土屋 直弘	大東建託㈱	



7080	川野 明子	日石伊藤忠	} 「生活科」「総合学習」と学校・地域環境学習交流空間の整備
7084	菊池 彩桂	㈱ナカノコーポレーション	
7145	関口あかね	近鉄ホーム建設	島根県内における大社造本殿の空間構成とその景観について
7161	武田 千織	㈱一条工務店	} 新しい家族と住まいのあり方に関する研究 地域環境像・家族像・住まい像
7169	塚原 由梨	天草産業	
7168	鄭 達愚	東京芸術大学大学院	韓国良洞村における景観要素と眺望空間について
7278	龍場 舞		現代に求められる雰囲気の良いレストラン 地域性と雰囲気・空間に対する評価
6229	永田 雄人	ダイア建設㈱	子供と地域の交流空間の計画 さいわい緑道活用計画の指針

柳田 武講師

7044	大川 貴弘		「複雑系」の考え方による「立体型都市」について	
7078	上條 隆		同潤会アパートの再生と保存	
7126	篠崎 和也	㈱一条工務店	東京駅を中心とした21世紀のオフィス都市のあり方について	
7143	鈴木 宏之		SS（サービスステーション）の現状と再生に関する研究	
7173	富迫健太郎		Webによるガイド「西新宿リラックス・スポット」の提案	
7194	西田 剛	㈱一条工務店	「空間演出」の電子ブック化の試みと活用法の検討	
7202	橋本 丈夫		CGによる建築空間の表現手法に関する研究	
6052	岩城 洋平		CGによる室内表現におけるライティング・テクニクについて	

小石川正男(短大)教授・田所辰之助(短大)講師

7010	天谷 裕太		アジアの都市計画 計画理念の多面的性格について		
7056	尾形 曜平		60年代の建築シーンとポップアートとの関係 現代建築におけるメディア操作の可能性		
7076	加藤秀二郎		吉祥寺北口商店街の景観について デザイン・サーヴェイによる都市分析手法を介して		
7183	中村 英恵	ブラジル研修(戸田建設サンパウロ支店)	ブラジル近代化の足跡 リオ・デ・ジャネイロとブラジリアの都市と建築		
9811	嶋崎 雄一	日大工学部大学院	建築と風景 ランドスケープ・アーキテクチャの空間構成の分析		
9821	南後 孝充		建築の形態決定における恣意性のありか 現代の建築家たちの作品と言説をととして		
9830	船戸 義弘		日本の近代住宅における和風表現に関する研究 武田五一、藤井厚二、堀口捨己の住宅作品をととして		

下村幸男(短大)教授

7029	伊藤 大輔		} 船橋校舎「環境・防災共同研究センター」および近傍地盤の スペクトル解析による地震動特性に関する基礎的研究	
7252	三輪 幸治	防衛庁陸上自衛隊幹部候補生学校		
6213	中川 真悟	㈱富士ハウス		

岡田 満(短大)助教授

9810	小島 聡明	野村土地建物㈱	} 建築としてのイベントブースの在り方 小津映画の中の建築	
9815	竹内 規夫			
9818	茶花 強志			

短期大学部

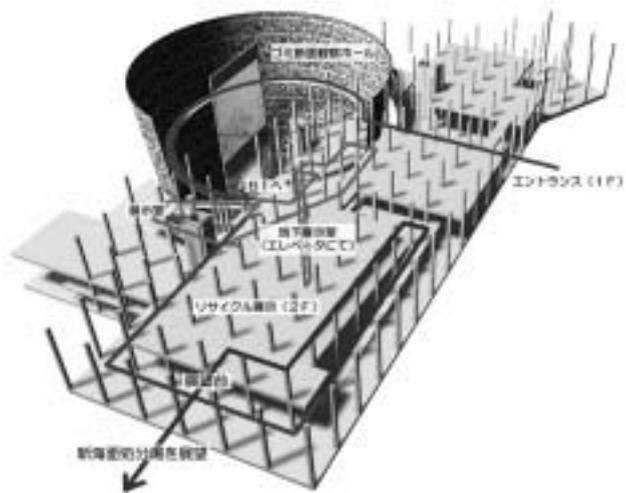
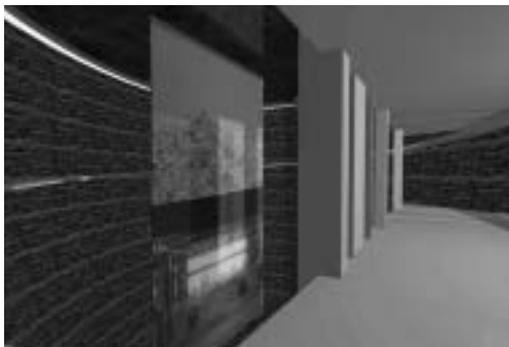
学生番号	氏名	就職先・進路先	卒業制作テーマ
9001	安部奈々美	理工・海建	THE LAND OF HAPPINESS
9002	天田 弥生	理工・建築	Forest Surrounds By the Rocks 生涯学習センター
9003	荒井 恵太	理工・建築	HOPE
9004	新居 樹	理工・建築	北総公団線千葉NT中央駅前 総合コンベンションセンター Yin & Yang
9005	碓 直	工学院大学	Inlay with
9006	石井 明男	理工・建築	INAGE SPORT PLAZA
9007	石 ^f 由夏	理工・海建	SANCTUARY
9009	市川 裕之	理工・建築	Rainbow House ~心の安らぎの場所~
9010	市嶋 桂子	理工・建築	吹奏楽のためのコンサートホール
9011	一之瀬友紀子		森林浴計画。(図書館)
9012	井出 和機	理工・海建	20世紀の遺産
9013	今淵 正崇	理工・海建	自然と映画と安らぎと...
9014	岩嶺麻依子		シーサイドレストラン
9015	薄葉 健吉	理工・海建	新種の体育館
9016	内田 守彦	理工・建築	学校の在り方
9017	江澤 健二	理工・建築	高齢者・障害者対応型の集合住宅
9018	大久保博之	理工・建築	My Sweet Load バスターミナルに出現する道空間
9019	大島 和浩	工学部	自然との交流 栃木県藤岡町谷中湖に建つ自然交流センター
9021	小沢 純子	理工・建築	On the Horizon
9022	小澤 弘規		筑波の芸術~五感を感じて~
9023	柿沼 哲也	前橋工科大学	図書電
9024	片岡 和秀	理工・建築	まちのショッピングセンター
9025	加藤 信崇	理工・海建	高齢者・障害者に配慮したスポーツ施設
9026	門倉 利通	日本工業大学	これからの都市のかたち
9027	金澤 英幸	理工・建築	情報収集センター Guidepost
9028	上林 実加	理工・海建	WATER PARK ~ NATURAL AND NATURE
9029	川村 正樹	理工・建築	Sports Leisure
9030	北岡 広子	理工・建築	スポーツクラブ
9032	木下 潤哉	理工・海建	A Nest of Art
9033	木村 和也	自営業	木の公園 ~ Woody Park Town in Fukushima
9035	久保田絢子		さまざまな世代の人々が触れ合える場所
9036	小池 裕之	理工・建築	職人技術の美学
9037	小菅 亮直		都市とvoid
9038	小林 大介	工学部	野外音楽堂
9039	小林良士子	生産工	Dream Station
9040	金野 嘉子	理工・建築	谷中ぎんざふれあいプログラム
9041	齊藤 真澄		ベイサイドアミューズメント
9042	齋藤 和歌	理工・海建	住みなれた街に...
9044	佐久間 茜	東洋大学	Warm 母校改築提案
9045	佐久間浩一	大翔建設	ピザ屋の革命
9046	桜間 俊	工学部	運動
9047	佐藤 康平	ホンダインターナショナル ルテクニカルカレッジ	大人と子供の緑の美術館
9048	塩本 正仁	理工・海建	図書館コンプレックス
9049	設楽 奈央	理工・建築	取り残された錦糸町4丁目を開発しよう!!

9050	島倉 謙二	理工・建築	光の美術館
9051	島田 一誠	理工・建築	地域密着型集合住宅
9052	下村 肇		美術館
9053	十文字 聡	理工・建築	U-30 ~集合住宅~
9054	鈴木 暦	理工・海建	博物館
9055	須藤 修宏	東京デザイナー学院	Nakitabashi Station Bridge
9056	高野 倫幸	工学部	歴史がとけこむ街
9057	高橋 智子	理工・建築	GREEN
9058	高橋 一	理工・建築	友といる場所 ~ Mother of Heart ~
9059	高橋 裕史		デザインパーク
9060	竹原 大輔	理工・海建	ふるさとを良く知ろう
9061	田f 卓也	理工・建築	人と緑と水
9062	田村奈都子	理工・海建	ART Factory
9063	近間 優子		海を越えて
9064	知家 雅人		グループホーム
9065	千葉 一喜		活気の町
9066	寺江亜由子		伊江島の別荘
9067	富山 麻衣	理工・建築	2001-Library
9069	中川 善博	工学部	明るい柏駅
9070	中村 敏和	理工・海建	森の秘密基地
9071	中山 里歌	工学部	Spring Structure
9072	西川路幸近	埼玉県立川越専門学校	人の流れ
9073	西水流大典	理工・建築	GARDEN
9074	西森 建志	生産工	ゴミ
9076	野中 昭博	理工・建築	横田基地返還計画
9077	長谷川 豊	理工・建築	原宿“広場計画”
9078	長谷部達也	理工・建築	Birth
9079	羽生加奈子	理工・建築	青空の下で
9080	濱井あゆみ		老人を捨てない、老人でもできること
9081	林 幸希	理工・建築	a ripple
9082	平岡 稔		集合住宅
9083	廣海 弘幸	理工・建築	First Step
9084	廣瀬 建典	理工・建築	单身者のための集合住宅
9085	福田 舞		老人保険センターと幼児保育施設の共有化
9086	藤井真利子	シャディー(株)	乳幼児施設と地域サービスセンターの複合化
9087	二瀬 麻美	理工・海建	RE ~復活するまち~
9088	舟山真二郎		MACH ~巨大な楽器づくり
9089	古家 昭彦	理工・海建	町づくり
9090	細川陽一朗	理工・海建	びじゅつかん
9091	牧野 純二		自立の家
9092	益子友加里	青山製図専門学校	COLOR Variation
9093	松井 瞳	理工・建築	街ごとギャラリー in 新宿
9094	松坂 崇	理工・海建	ZOSHIKI21.COM
9095	松島 雄一	理工・海建	水辺の憩い
9096	松本 貴記	理工・海建	自然と建築
9097	水木 麻里		まちの資料館
9098	三田さやか	斎藤建築設計事務所	Show Space

9099	三井 智子	理工・海建	individual office
9100	宮内 洋明	理工・海建	周辺環境を活かす
9101	宮内 悠子	理工・建築	公園を利用した乳児期の子供の教育施設
9102	宮坂 拓己	㈱システム建創	森と光の共存
9103	宮地 克房	生産工	茶室
9105	八島 秀有	東洋大学	tube.com
9106	山下 雅人	理工・海建	イス
9107	山田 浩三	理工・海建	ままがわポイントラリー
9108	横尾 明	生産工	水と浜辺のお店
9109	吉田 賢一	理工・海建	海と夕日と遊ぶ。
9110	吉野 麻美	工学部	沙漠からの解放
9111	渡邊 大輔	生産工	これからのビル構造
8034	河原田寛人	千葉工業大学	It's the mismatch
8054	篠田 英明		「彩」新三郷駅前 環境計画

2000年度卒業制作優秀作品

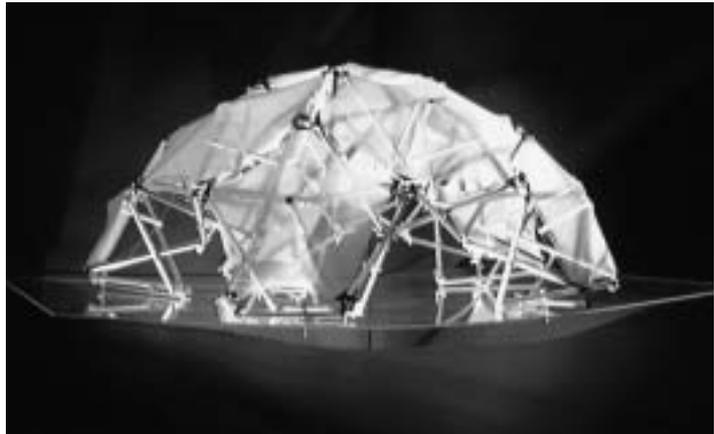
桜建賞
waste landfills / 大森紘子



桜建賞
ハイブリッドライブラリー 躯体再利用による新日比谷
図書館の設計 / 長谷川洋平



奨励賞
Reusable Deployable Structure / 小倉史崇



今村雅樹助教授とTIS & パートナーズの今川憲英氏による設計作品「太田市総合ふれあいセンター」が、3月18日発行の建築雑誌増刊「日本建築学会作品選集2001」(60作品)に掲載され、2001年日本建築学会作品選奨を受賞した。表彰式は日本建築学会通常総会で行われる予定。なお、このプロジェクトには劇場計画で本杉省三教授も協力している。また、本学OB、白江龍三氏と宮崎光生氏の作品「NSW山梨ITセンター」も同じ作品選集2001に掲載された。

大川三雄専任講師、矢代真己短大非常勤講師、田所辰之助短大専任講師、濱岸良実短大非常勤講師の4名による共著『建築モダニズム 近代生活の夢とかたち』((株)エクスナレッジ)が出版された。1996年から98年にかけて『建築知識』で連載していた「再読・日本のモダニズム」をまとめ単行本化したもの。

重枝豊助手は『世界美術大全集 東洋編 12 東南アジア』(小学館)において、「カンボジアの建築」(第1章)および「ヴェトナムの建築」(第2章)の2編の論考と作品解説を担当執筆した。両国の建築が、体系的な美術全集の中で紹介されたのは初めてのことである。

大川三雄専任講師他による『図説・近代日本住宅史』(鹿島出版会)が刊行された。住宅総合研究財団よりの出版助成を得たもので、住まいに興味のある方にとっての手ごろなサブテキスト。

教室ぶろむなーど

羽入敏樹短大専任講師、木村翔教授連名の原著論文“A new objective measure for evaluation of listener envelopment focusing on the spatial balance of reflections”が、イギリスの科学雑誌Applied Acoustics Vol.62 No.2(2001)“コンサートホールにおける響きの空間印象”に関する特集号に掲載された。

木村翔教授と吉田燦教授は平成13年3月で定年退職された。新谷隆弘専任講師もこの3月で退職された。

新しく建築教室のメンバーになったのは、早川真教授(環境工学)、石垣秀典助手(石丸研究室)、富田隆太助手(井上研究室)の3名である。

非常勤講師の新旧交代は次の通りである(敬称略)

新任
秋山 稔(建築施工法, 建築積算)
宮越 善彦(一般構法)
飛内 圭之(建築材料)
城戸崎和佐(建築設計,)
藤江 秀一(設計演習,)
内田 陽一(地域開発計画)
大貫 達雄(地域開発計画)
古橋 秀夫(不動産維持管理)
中島 康典(鑑定評価理論)

退任

古田 達弥(建築施工法, 建築積算)
稲山 正弘(一般構法)
横河 健(建築設計, 設計演習)
坂 茂(設計演習)
伊豆 宏(地域開発計画,)
八木祐四郎(不動産維持管理)
多久和安雄(鑑定評価理論)

短大建設学科の非常勤講師の新旧交代は以下の通り。なお、平成12年12月に定年退職された横山清短大教授は、引き続き非常勤講師として「建築材料」の講義をさせていただく(敬称略)。

新任
神野 郁也(デザイン基礎,)
井坂 幸恵(デザイン基礎,)
山田 和之(デザイン基礎,)
片桐 頼継(美術・様式史)
有賀 棟央(インテリア計画, インテリア計画演習)

鈴木 雄司(木質構法)
飛坂 基夫(建築施工法)

退任
平賀 友晃(建築施工法)

平成12年度の卒業式が3月25日(日)に行われた。建築学科の卒業生は290名、大学院建築学専攻、博士前期(修士)課程の修了者は60名、博士後期課程は1名、不動産科学専攻の博士前期(修士)課程修了者10名、同後期課程1名であった。

駿建目次

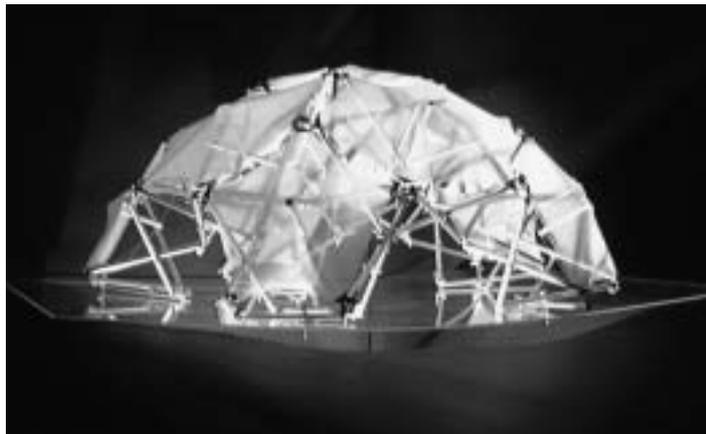
(2001.4 Vol.29 No.1 通巻113号)

表紙 「P-U」 設計: 佐藤慎也
撮影: 木田勝久

P-U (paper-unit) について	2	平成12年度建築学科就職状況	18
建築学科履修要項	4	平成12年度各賞受賞者一覧	23
短期大学部建設学科履修要項	10	修了生・卒業生就職先・研究課題一覧	25
専門科目使用教科書並びに参考書	12	教室ぶろむなーど	40
着任のご挨拶	16		

『駿建』 発行者・斎藤公男: 千代田区神田駿河台1-8-14 日本大学理工学部建築学科教室 Tel.03(3259)0724 http://www.arch.cst.nihon-u.ac.jp
平成13年度編集委員: 半貫敏夫・岡田 章・大川三雄・蜂巣浩生・羽入敏樹・渡辺富雄・佐藤慎也・佐藤直樹 印刷: 奥村印刷株

奨励賞
Reusable Deployable Structure / 小倉史崇



今村雅樹助教授とTIS & パートナーズの今川憲英氏による設計作品「太田市総合ふれあいセンター」が、3月18日発行の建築雑誌増刊「日本建築学会作品選集2001」(60作品)に掲載され、2001年日本建築学会作品選奨を受賞した。表彰式は日本建築学会通常総会で行われる予定。なお、このプロジェクトには劇場計画で本杉省三教授も協力している。また、本学OB、白江龍三氏と宮崎光生氏の作品「NSW山梨ITセンター」も同じ作品選集2001に掲載された。

大川三雄専任講師、矢代真己短大非常勤講師、田所辰之助短大専任講師、濱岸良実短大非常勤講師の4名による共著『建築モダニズム 近代生活の夢とかたち』(株)エクスナレッジ)が出版された。1996年から98年にかけて『建築知識』で連載していた「再読・日本のモダニズム」をまとめ単行本化したもの。

重枝豊助手は『世界美術大全集 東洋編 12 東南アジア』(小学館)において、「カンボジアの建築」(第1章)および「ヴェトナムの建築」(第2章)の2編の論考と作品解説を担当執筆した。両国の建築が、体系的な美術全集の中で紹介されたのは初めてのことである。

大川三雄専任講師他による『図説・近代日本住宅史』(鹿島出版会)が刊行された。住宅総合研究財団よりの出版助成を得たもので、住まいに興味のある方にとっての手ごろなサブテキスト。

教室ぶろむなード

羽入敏樹短大専任講師、木村翔教授連名の原著論文“A new objective measure for evaluation of listener envelopment focusing on the spatial balance of reflections”が、イギリスの科学雑誌Applied Acoustics Vol.62 No.2(2001)“コンサートホールにおける響きの空間印象”に関する特集号に掲載された。

木村翔教授と吉田燦教授は平成13年3月で定年退職された。新谷隆弘専任講師もこの3月で退職された。

新しく建築教室のメンバーになったのは、早川真教授(環境工学)、石垣秀典助手(石丸研究室)、富田隆太助手(井上研究室)の3名である。

非常勤講師の新旧交代は次の通りである(敬称略)

新任
秋山 稔(建築施工法, 建築積算)
宮越 善彦(一般構法)
飛内 圭之(建築材料)
城戸崎和佐(建築設計,)
藤江 秀一(設計演習,)
内田 陽一(地域開発計画)
大貫 達雄(地域開発計画)
古橋 秀夫(不動産維持管理)
中島 康典(鑑定評価理論)

退任

古田 達弥(建築施工法, 建築積算)
稲山 正弘(一般構法)
横河 健(建築設計, 設計演習)
坂 茂(設計演習)
伊豆 宏(地域開発計画,)
八木祐四郎(不動産維持管理)
多久和安雄(鑑定評価理論)

短大建設学科の非常勤講師の新旧交代は以下の通り。なお、平成12年12月に定年退職された横山清短大教授は、引き続き非常勤講師として「建築材料」の講義をさせていただく(敬称略)。

新任
神野 郁也(デザイン基礎,)
井坂 幸恵(デザイン基礎,)
山田 和之(デザイン基礎,)
片桐 頼継(美術・様式史)
有賀 棟央(インテリア計画, インテリア計画演習)

鈴木 雄司(木質構法)
飛坂 基夫(建築施工法)

退任
平賀 友晃(建築施工法)

平成12年度の卒業式が3月25日(日)に行われた。建築学科の卒業生は290名、大学院建築学専攻、博士前期(修士)課程の修了者は60名、博士後期課程は1名、不動産科学専攻の博士前期(修士)課程修了者10名、同後期課程1名であった。

駿建目次		平成12年度建築学科就職状況	
(2001.4 Vol.29 No.1 通巻113号)	P-U (paper-unit) について	2	平成12年度各賞受賞者一覧
	建築学科履修要項	4	修了生・卒業生就職先・研究課題一覧
	短期大学部建設学科履修要項	10	教室ぶろむなード
表紙「P-U」設計: 佐藤慎也 撮影: 木田勝久	専門科目使用教科書並びに参考書	12	
	着任のご挨拶	16	

『駿建』 発行者・斎藤公男: 千代田区神田駿河台1-8-14 日本大学理工学部建築学科教室 Tel.03(3259)0724 http://www.arch.cst.nihon-u.ac.jp
平成13年度編集委員: 半貫敏夫・岡田 章・大川三雄・蜂巣浩生・羽入敏樹・渡辺富雄・佐藤慎也・佐藤直樹 印刷: 奥村印刷株